

・専門職としての関わりや面接技術。・課題をとりまく全体像を捉える視点と課題分析の力。
・専門職としての業務について責任を持ち、行っていることについて理解を得られたい。
・専門職としての経験を生かした事業の企画・運営をしていること(関係機関や関係職種との連絡調整能力等)
・専門職としての視点だけでなく、政策的な視点から事業をとらえ目的、目標を持って事業を運営していること。・評価(客観的)をしていること
・専門職としての視点でケアマネの相談、助言、指導をしたり、関係機関につないだり、他機関、他職種とのかかわりの調整したり、家族や本人等の相談に応じ、的確にアドバイス等ができること。・相談、苦情に対する相談、面接技術がある
・専門職としての視点で個々のケースと関わっていること。
・専門職としての視点で住民様々な事業に係わり、意見を言っていること
・専門職としての事業のとり組み
・専門職としての自覚を持ち、自分なりに精一杯の力で住民と関わっていること。・常に新しい知識や技術を身につけようと努力をしていること。
・専門職としての住民サービス
・専門職としての住民とのかかわり、事業の展開方法等。
・専門職としての住民との関わり
・専門職としての住民との関わり、専門性
・専門職としての住民との関わりや地区活動
・専門職としての住民への個別支援、事業の企画・運営
・専門職としての住民への支援
・専門職としての対応
・専門職としての対応 ・専門職としての事業運営
・専門職としての対象者への関わり ・関係機関同士の連携、調整、情報の一元化
・専門職としての知識を基にした事業の企画・運営をしていること
・専門職としての知識を持ちながら住民の立場にたつたの活動が心かげ行っているところ ・地域の人のネットワークを形成しようと活動しているところ
・専門職としての知識を生かし、福祉業務や相談に携わっている。・専門職と他との連携の役目を果たしている。
・専門職としての知識を生かして、業務を実施しているところ ・住民からの相談をうけとめ、分析して課題としてうけとめる姿勢
・専門職としての知識を生かして、住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
・専門職としての知識等を生かした業務が行えていない(見い出せていない)ため評価するのは困難だと思う
・専門職としての直接的な住民の関わりが、地域全体の声として大切に対応していること、又、地域の社会資源を活用(連携)しながら、保健事業を企画・運営していること
・専門職としての働き
・専門職としての能力(看護職+福祉職)
・専門職としての部分と、それ以外の人間的な部分の相方合わせて住民と関わり住民の声に耳を傾け、大切にしたいと思う ・その他にも、他機関と連絡・調整しながら業務をすすめ、より住民の役に立つサービスを提供していきたいと思う。以上のことは、まだまだできていませんが、これから努力していきたいと思うので、こういった部分を評価してもらいたい
・専門職としての分析、企画運営能力 ・医学的知識を持ったうえで相談能力
・専門職としてはもちろんだが、幅広い年齢層に関わりを持っていること。・本来であれば疾病予防活動といった視点で業務展開し評価したいが、なかなか難しい。
・専門職として可能な限り、連絡調整できる関係機関との話し合いを行い、本人、家族と共に考えていること ・必ず1つの事業が終わる際には住民の声も大切にし、文書化しまとめ、次回への課題をだしていること
・専門職として業務にたずさわっていることを評価というよりも理解して欲しい
・専門職として健康づくりを主に事業を運営・まとめをし、アンケート等とりながら住民サービスの向上に新たな企画等とり入れながら行っている所。
・専門職として困難事例に対応しつつ、他職種と連携し課題の解決に寄与できること ・乳幼児〜高齢者までの広い視点で地域の健康問題を把握し、施策につなげていけること
・専門職として在介職員等への支援、指導をしていること ・事業を通して課題を整理し、事業の企画・見直しをしていること
・専門職として仕事をしているところ
・専門職として事業の企画・運営を参加者にアンケートを実施して意見を聞きながら、その意見を実施にはんえいしているところ
・専門職として自分達の仕事に根拠(地域のニーズもきめて)をもって活動していること。・地域住民を主体として活動していること。
・専門職として住民、関連機関の職員と関わり事業を行っていること
・専門職として住民すべてに関わりを持っていること
・専門職として住民との関わり、そこから得られたニーズを基に事業の企画・運営に生かしている
・専門職として住民との関わりを実施していること
・専門職として住民との相談対応について ・介護支援専門員をはじめとするサービス事業者への関わり。
・専門職として住民と関わっているところ ・公平な評価
・専門職として住民と関わっている事業の企画・運営
・専門職として住民と関わり、サービスにつなげていったり、相談にのったりすること ・住民の声を施策に生かせるよう努めているところ
・専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業をすること
・専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業を推進している
・専門職として住民と関わり、個人だけでなく家族、地域の健康に視点を置いた活動をしていること。

<p>・専門職として住民と関わり、子育てをサポートしていること</p> <p>・必要に応じて他の機関との連携をとっていること</p> <p>・住民の声を大切にし、住民から学んでいること</p>
<p>・専門職として住民と関わり、事業の企画・運営、個々へのかかわり等を行っている事</p> <p>・住民の声を事業にとり入れ実施していることで本来の目的(予防事業の効果)が、それなりに達成されていること</p> <p>・障害を持つ個々のケースとのかかわりの中で専門職としてのかかわりが行なわれていること、それにより障害者の生活が、維持されていること。(プライバシーの問題もあり、なかなか話せない部分もあり…)</p>
<p>・専門職として住民と関わり、事業を行っていること</p>
<p>・専門職として住民と関わり、住民サイドにたつて、事業の企画運営をしていること</p> <p>・数字には表われない支援をしていること</p>
<p>・専門職として住民と関わり、住民の視点や声を大切にしていること</p> <p>・他の部門や部署、関係機関との連携を図っているところ。</p>
<p>・専門職として住民と関わり、地域・家庭、生活面から総合的に他機関と連携をとりケースワークをすすめていくこと。</p>
<p>・専門職として住民と関わり、問題解決に向けて、関係機関と連絡調整していること</p>
<p>・専門職として住民と関わり医療機関等、関係機関と連携をとり円滑に治療終了できるよう援助していること</p> <p>・結核に関するけいもう活動をいろんな場面でこなしていること</p>
<p>・専門職として住民と関わり住民が生活しやすくなっていくこと</p> <p>・住民、ひとりひとりへの対応を大切にしているので、時間がかかることを理解して、評価してほしい</p>
<p>・専門職として住民と関わり専門職としての知識を生かして住民サービスを提供していること</p>
<p>・専門職として住民と関わり様々なネットワークづくりをしていること</p> <p>・住民の自主活動に対する意欲を引き出し、地区組織活動につなげていること</p>
<p>・専門職として住民と関わり、それ以上に住民の求めるたとえば苦情や、意にそぐわないことを言われたりして、公務員としての対応のむずかしさ</p>
<p>・専門職として住民と関係機関との調整を図り、スムーズな対応ができるようにしていること</p> <p>・住民の声を大切にし、事業の企画運営に反映させていること。</p>
<p>・専門職として住民に関わり、健康全般に関し支援していること</p> <p>・他機関だけでなく、ケースの家族、近隣の方々と連携して、ケースを支援していること</p>
<p>・専門職として住民に関わり、他機関と連携していること。</p>
<p>・専門職として住民に対応し、喜ばれていること。</p>
<p>・専門職として住民の生活に関わり、住民の気づきが促され、主観的、客観的に健康面等に対してよい成果が得られた時</p> <p>・私達が関わることで住民の心配や、不安・疑問が解決・解消されたこと</p> <p>・住民ニーズを生かした保健事業計画の策定や取り組みを実施していること</p> <p>・他関係機関と連携して事業運営している姿勢</p>
<p>・専門職として住民の要望や必要性に合致した内容で実務的にも企画運営が現実的に妥当な負担である事業を立ち上げること</p>
<p>・専門職として専門機関と住民のパイプ役として活動していること</p>
<p>・専門職として組織の育成や地域作りに関わっていくことの必要性の理解と、それに力を注いでいること</p> <p>・各専門機関と連携を図り、ネットワーク作りをしようとしていること</p> <p>・精神障害者を理解し、個々に合わせたケアマネジメントを行っていること。</p>
<p>・専門職として相談に応じ情報を伝えることで住民が自分で判断できるよう支援している</p> <p>・住民が必要な専門機関等へしっかりつながれるよう関係機関との連携を丁寧に行っていること</p>
<p>・専門職として地域の課題、問題に対して事業の中で工夫してとりこんでいる</p> <p>・地域住民のニーズは何なのかアンケートや住民の声などを把握しようと努力している</p> <p>・地域の健康実態について統計的に分析している</p>
<p>・専門職として地域住民との関わりを大切にしていること。</p>
<p>・専門職として地域住民と関わり、個々にあった問題解決へ導いていること</p> <p>・住民と共に自分の市町村の健康問題解決にとりこんでいること。</p>
<p>・専門職として地域住民と関わり、個々にあった問題解決へ導いていること</p> <p>・住民と共に自分の市町村の健康問題解決にとりこんでいること。</p>
<p>・専門職として地域住民の方々と関わりを持ち、自主団体の育成をしていること。</p>
<p>・専門職として地区診断し、必要な事業の企画・運営に携わること</p> <p>・専門職として住民の立場になり、必要な制度・サービスにつなげること。</p>
<p>・専門職として得た知識や情報を基に、事業の企画・運営・評価を行ないながら実施している点</p> <p>・住民との関わりや、問題解決にむけての対応能力</p> <p>・さらに事務処理能力。</p>
<p>・専門職として得た知識を仕事に生かしながら効果的な事業をすすめるよう努力していること</p> <p>・仕事の重要性を認められて町として予算を配分してほしい</p>
<p>・専門職と連携プレーしてスムーズに出来ていることのプロセスを理解してほしい。(理解させるよう努力したい)</p> <p>・住民にやさしく、耳をかたむけていること。</p>
<p>・専門職のかかわりによるスムーズな事業の展開</p>
<p>・専門職の知識を生かして、住民にとってより良い方向になるように、事業を運営していること</p> <p>・予防的により、住民の問題を未然に防ぐ事業を展開していること。</p>
<p>・専門職の知識を生かして仕事をしていること</p>
<p>・専門職の中でも、他機関と連携を行いながら保健士自身が1人で動くのではなく、住民やケースワーカー、ヘルパーへ役割を理解してもらい、コーディネーターとして関わっている点。</p>
<p>・専門職を生かした事業の企画、運営をしていること</p> <p>・チームでやっていく仕事だと思わず、皆でまめに話し合いをして1人合点で勝手な仕事をしないように努めていること</p> <p>・自分がPHNとしてやっていた仕事もあるが、その地域の人々に内容があっているのか、また逆に市民が求めていることは何だろうかという視点で考えること。</p>
<p>・専門職を中心とした関係スタッフの輪を大切に、各自が仕事をしやすいよう配慮している点。</p>
<p>・専門職間のネットワーク形成ができ活動が始まり、その中で問題解決や業務の質の向上につながる学習がされていること</p> <p>・専門職間のネットワーク形成から、地域の活動の活性化にむけた活動にむけた課題が話し合われ、活動が計画されていこうとしていること</p> <p>・関係職種から相談のあった事例が改善の方向に向かっていること。</p>
<p>・専門性・事業実施や、ケース援助の際、細かい所もかけながら調整しているところ</p>
<p>・専門性のある仕事</p> <p>・幅広い分野で活動できる職種である事</p>
<p>・専門性はもちろんのこと、行政運営の中長期的なスパンも見こして事業の企画・運営をしていること</p> <p>・事業の運営にあたって、他の機関との連携を図って幅広い視点で行っていること</p> <p>・従来の事業評価に加え、可能なものに対しては、費用対効果まで勘案していること</p>
<p>・専門性をいかして、他職種と連携、ケース連絡しながら関われる事</p>
<p>・専門性を基盤に、専門性にばらばらに、調整力を発揮した問題解決能力の高さ</p> <p>・経験に基づけられた判断力</p>
<p>・専門性を身につけるために日々学習、住民から教えてもらっている状況です。その姿勢くらい。</p>
<p>・専門性を生かした事業の企画と区保健センターとの連携にて事業の効率化をめざしているところ。</p>
<p>・専門性を生かした対人援助、住民サービスに心がけていること</p> <p>・専門的な視点で、事業、地域全体をみていくこと</p> <p>・画一化ではなく、その人に合った健康づくりを一緒に考えていくことができること</p> <p>・関係機関との連携を重視し、よいつながりがもてること</p> <p>・職員メンタルケアにも心がけていること</p>
<p>・専門性を生かしながら、福祉分野での活動をしている、事務も含め、一連を担当しているため、幅広い視点で関われる</p> <p>・連携活動やその視点を重視して活動していること</p> <p>・日常活動の中で得られる情報(住民の声も含む)を収集、整理しつつ、業務に生かしていること</p>
<p>・専門性を生かし業務に携わっていること</p> <p>・住民の視点に立ち業務に携わっていること</p>
<p>・専門性を発揮し、生活改善が図られたことや不安が解消、軽減できたりしたこと、特にメンタルな部分は重い支援だが、意外に理解してもらえない</p>
<p>・専門知識の上で政策を考える点</p> <p>・部下とのコミュニケーションを大切に育てている</p> <p>・地区組織との連携を大切にしている</p>

・専門知識や、技術を生かし、住民とかかわり、問題を明らかにし、事業の企画、運営をしていること。
・専門知識や心理的社会的面から、統合的な観点から、住民と対応しているところ。・悩んだり心配したり、困っている人の相談相手となっている
・専門知識を持つ専門職としてのケースへの関わり ・地域全体を把握したうえで業務の実施(把握しようと努力するところが現状ですが…)
・専門知識を生かし、住民と関わり、そこから得た情報を基にした、事業展開をしていること ・ライフスタイルに合わせて、住民の声を大切にしながら事業企画していること
・専門知識を生かした個への関わり。・他職種と連携をとり、役割分担しつつ、支援を充実させること。・業務の中で把握した地区の特性を地区組織に情報提供し、ともに地域づくりに取りくむこと。
・専門知識を生かした職種の視点で、他部署の職員との連携をはかる ・専門職外の事務職としての機能をもっている
・専門知識を生かして行っていること。
・専門知識を生かしながら住民のエンパワメントをひきだせるような事業の運営を自分なりにしていること ・すぐに効果はでないし、なくて当然と思われがちだが、日々の相談や地道な訪問が虐待予防につながっていること。
・専門知識を生かし住民と関わり、そこから得た情報を基にした事業展開をしていること ・ライフスタイルに合わせて住民の声を大切にしながら事業企画していること
・専門的なことだけでなく事務的なことも含めて総合的に業務をこなしているところ ・できるだけ積極的に住民と関わるようにしていること
・専門的なところから、住民と関り、相談対応ができること ・各事業の成果が数字的に変わって、それを評価してもらうのがいちばんいいのだが、なかなか、数字に変わらないわよ!
・専門的なところにおいては、ある程度評価をうけている様にも感じられるが、専門外のところや、雑務に追われながらも、対応しているところ 苦情処理
・専門的な支援や業務処理ができていくところ
・専門的な知識、技術を生かしながら、全住民を対象とした幅広い仕事ができること。・事務職としての能力も発揮できること。
・専門的な知識と、これまでの活動の中で広げてきたネットワークを利用し活動し、住民にとって何が 필요한かを考慮しながら仕事をしていること。
・専門的な知識を生かし、住民の立場で物事を考え住民とかかわりをもつようにしていること
・専門的な立場から住民に関わり相談、指導事業を実施していること ・長期的な視野に立つての保健事業の企画、運営をめざしていること
・専門的視点から根拠を元に実施する事業に集中していくことに理解して欲しい
・専門的視点と、行政上の制約を調整して取りくんでいるところ ・自分の分野だけでなく、総合的に評価して、見通しをたてているところ。・先見の明をもって提案しているところ ・低予算でも、実績を上げているところ
・専門的知識、技術をもって住民に深く関わっているところ
・専門的知識と経験をもとに、事業計画に携わり、能力を発揮していること ・ひとりひとりの問題が解決困難である、結果は、でないが、他機関と連携しながら悩みながら活動していること
・前向きに仕事をしようとする姿 ・先入観で市民と接しないようにしているところ平等に接しているところ
・前年より、がん検診、精検未受診者を減らそうとしている所
・全て事務業務のため、専門職として働きたい。
・全体を見て活動していること ・地域を見る観点から統計処理はもちろん、住民の声を大切にしていること
・全体を見通しての係内業務の進行と調整(事務、人事管理していること) ・個々のケースへのケースマネジメントと関係機関への連携調整していること
・全体を見渡しながら、調整しながら仕事をしていること ・おんどりをしていること
・全体的に見て、ケアマネジメントを行っているということ
・組織における自分の立場・役割(補佐)を逸脱しないようにし、上司に筆を持たせ(必要な意見は言う)職場内の人間関係に努めている。・組織内の一人一人が持っている能力が発揮できるチャンスを与えチームプレーを大切に、現任教育に力を入れている
・相手(ケースなど)の気持ちを大切にしているところ。・丁寧なところ
・相手の気持ちを考え対応しているところ。(ケースや職場全体の中でも)
・相手の立場に立て、住民と接するところ ・新しい情報、知識を得ようとする意欲や行動
・相手の話をしっかり聴くようにしていること
・相談ケースや困難ケースには即対応している ・母子健診等には、事故、苦情等の心ばかりをしている。
・相談にのり、その人の悩みの解決にたずさわることができる点 ・住民の生の声を行政に生かせる点 ・人と人との関わりを大切にできる点
・相談や事業実施後の整理、まとめ ・住民との接し方
・相談をていねいに聞くよう心がけていること
・相談業務、訪問業務では、個別に対応し、時間を要していること。
・相談業務を通して感謝されたり、連携して仕事をすすめ地域で生活しつづけている事例が多いこと。・ケアマネジャーの相談に応じ、問題の整理にあたったこと。・主に脳卒中関係(リハビリ)の知識があること
・相談事業 ケースの当事者や家族、他機関他職種との連携・協働の中から共にエンパワメントし、課題解決へのプロセスを踏んでいる ・個のニーズを事業企画、展開にとり入れている ・多大な業務を優先的に迅速に行なっている
・相談者の話をよくきくことから、相談者の力を増やせるように関わっているところ
・相談窓口で、医療関連知識と関係する法や情報等を一元化しながら相談にのれるところ
・相談内容及び対応、処理内容
・窓口での相談業務において住民の方の応待をする際に、今までの経験(看護師)を生かしその人があるがままに受けとめ、援助者として広い視点(保健、医療、福祉の視点だけでなく、精神面、社会面、経済面などへの配慮)をもって関わっていること ・自分の能力の限界を知り、必要場合は、必要な人にきちんとつなげていること(それは結局、相談をする住民の人に譲突に应诉することにつながっていると思うので、かかえこみすぎない)
・総合的な視点から考え指示を出す。まとめ上司へ伝達し今後の方針をいつも考えているところ。・予算に関すること議会に関することの事務について
・即結果の出ないこと ・数字では表わせない部分があること。
・他の関係機関と情報交換や連携活動を密にしていること ・専門職として知識を高めようとしていること
・他の関係機関と連携を取り、個々のケースに対応している事
・他の機関との連携

・他の行政職が関わらない保健師、専門職としていろいろな、健康レベルにある住民と関わり、支援を行っているところ ・健診結果や他のデータから得た情報を事業の企画、運営に役立てていること
・他の職種（ex栄養士、歯科衛生士さん）と比較して、保健師の業務内容は事務職の上の方には分かりづらく、「何をやってるんだ？」との声をよくききます。又、相談業務や健診事業の評価も短期にはでないので（特に精神相談）費用対効果の観点で評価されるのは、なじまない分野だと思う。・4カ月スパンの減量教室では、初回と終わりに血液検査も含めて、数値で結果がでるのでやりがいがあがる。
・他の職種から見てわかりにくい部分、例えば虐待又は虐待ハイリスクのままにしておけば必ず大きな問題となる事例の支援等をきちんと評価してほしい。
・他の職種と連携ができていくところ。
・他の専門職の部分もかなり関わり、保健師がまとめていること ・事業実施のみでなく事業前後の作業、事務量について
・他の専門職や関係機関、住民組織との協働により、事業を企画、運営しているところ ・住民の立場に立って、相談～支援を行っているところ
・他の部署との連携のしかたを考えながら、事業を展開しているところ ・事業の中から得られた住民の声を、他の事業にも活かせるよう、心がけているところ
・他の保健師や職種への実務援助をかなりやっていること！ ・地域を見る観点から住民の声を大切にしていること！
・他機関、他職種との連携、協働を頭に置いて、住民のサービス向上に心掛けていること。・規定予算枠の中で、事業評価しながら、スクラップ&ビルドを繰り返しながら住民のニーズに応える事業展開している事
・他機関、他職種と連携をとり事例の対応にあっているところ。そこから、事例が自分たちの力で自主グループなどを立ちあげていっているところ。
・他機関・他部門と連携のため、TELLしたり足を運んだり、信頼関係を築く努力をしていること。
・他機関との調査や地区住民との関わりの中での組織作り
・他機関と連携し、全体的にみた療育システムの構築についてマニュアルづくりをしていること ・思春期保健について新たにかかわり、新規事業の企画を考えていること ・保護者とのかわりを密にし、専門職として相談にいつでものれるようにしていること ・統計的な視点も大事にしていること
・他機関と連携し、地区の実状に応じた先進的な取り組みをしていること ・チームをまとめ、職員個々の力が発揮されていること
・他機関と連携しながら住民の生活をサポートしていること。
・他職種、先輩方の意見を参考にしながら自分なりに事業を実施していること（人それぞれ見方、方法も違うのだから、自分のやり方にとらわれず、様々な人の様々な意見、考えを聞いて、今は自分を向上させたい）
・他職種が混在する現場の人間関係の調整
・他職種との連携をおこない専門職として住民に関わり在宅ケアの窓口として機能しているところ。
・他職種との連絡調整を行っていること ・健康教育をする際、準備にも時間を要するというところ ・地域に向いて情報を収集していること
・他職種の方や住民とよく話し合いながらよい方法を考え企画したり、かかわりをもったりしていること？ ・毎日こなすことで精一杯で、自信をもって、言えることはあまりありません
・他部署と協力し、健康教室等の事業を企画、運営していること。・訪問の場で、対象者の話をよくききアドバイスしていること。
・他部署、他職種と保健師とのまた保健師間の潤滑油的役割
・他部署と連携しながら横断的に取り組んでいること ・前例踏襲型でなく事業の見直し、改善をしていること ・専門知識を生かした住民との関わり、地域の中でのコーディネート役機能
・他部門、他職種との連携をもとに、事業を常に見直す姿勢で取り組んでいること。・先例にとらわれることなく、住民のニーズ、社会の情勢を視野に入れて、取り組んでいること。
・多くのネットワークを活用した情報収集及び企画立案 ・自己のステップアップのための努力 同僚等への波及など
・多くの知識を得るために各研究会などに自主的に参加する時間をさいしていること。
・多岐にわたる仕事内容を他職種と連携しながら行っていること
・多職種、多機関と連携を取っていることから外部の方との関係づくりが市民の方へ反映されるところ
・多職種との協働で事業展開していること
・多職種と連携しようと努力しているところ
・多数の事業を従事しつつ新規事業（精神など）に取り組んでいること、又それに伴う知識の習得のため研修に積極的に参加し、他のPHNの参加した研修内容も積極的に吸収すること。・実施した事業を常に評価し見直し必要に応じてPHN全体で事業の企画、運営に前向きにとりこんでいること
・多問題があり対応困難なケースについては、他職種、他機関との連携を密にとりいかなくてはならず、スムーズに簡単には解決していけないこと。また、時間をかなり費やすこと。
・対応する相手の状態に合わせた自立支援の指導を心がけていること
・対応の難しいケースであっても、丁寧に、必要なサービス・社会資源につなげることを心掛けている。ケースがどうしたいかを考えながら、ケース本人の気持ちを大切にしつつ、どのようにしたらよい方向に進むかを考え行っている。
・対住民の最前線で、サービス等をしており、住民の声を大切にしていること。・あたりまえかもしれないが、種々の情報等を常に取り入れ、努力していること
・対象の立場から援助しようと努力している点 ・適切な、保健指導、健康教育、情報提供をするため、係内の仕事分担やスタッフ同士、連携をとっているところ
・対象者に正しい知識、情報を伝え、健康管理につながる良い生活習慣をもって頂けるよう働いている ・疾患のある人に、できるだけ負担をかけさせずに、正確に迅速に手続きができるよう心がけている ・9センター連絡、調整し、事業を円滑にすすめていけるよう働いている
・対象者の思いを大切にすること ・行政としての事務処理関係
・対象者の満足度
・対象者の立場で活動を展開すること（数字でなく上記の視点で内容による評価を希望する）
・対象者の立場に立って相談にのること
・対象者の話を聞き、正しい情報提供ができるよう努力していること ・迅速にニーズに応えられるよう心がけていること
・対象者や相談者のニーズを大切に、プライバシーに配慮しながら関係機関等と調整をはかり、共に問題解決の方向へむかっていくプロセスを大切にしていること。・地域の健康度の向上のため、関連する機関、職員と連携しネットワークづくりを心がけていること
・対人サービスのため、相手の意見を聞いたり、わかりやすいように説明をしたりする ・住民の声をききながら、事業を行う
・対人援助技術 ・経験の上に立った豊富な住民についての情報を持ち業務に活かしていること
・大きい事業をこなしたとき。
・大きな成果はなかなかわかりづらいが、将来的な目標にむけて事業を展開しているところ
・大集団（住民）、個人、専門職との連携等、様々な状況の中で、保健師としての関わりをしていること
・沢山ある業務をなんとか、こなそうとしているところ。

<p>・誰に評価を求めているのか(？)自分のやったことが住民サービスの向上になればよいと思う 住民が喜んでくれる、住民のための仕事をしている時は、達成感がある・保健師も行政マンであり、いろいろな事務も理解したり、処理できなければならぬと思う。こういったハングリーさは、評価してもらえかなと思う</p>
<p>・単なる数字の評価ではなく住民との関わりの中で得た情報等に基づいて事業計画をしているところ。・長いスパンで住民と関わりを持っており、1～2年で実績を残す事業ばかりでないところ。</p>
<p>・単年での成果を示すことは難しい事業をしているところ。</p>
<p>・担当ケースを、その人なりの自立ができるようかにか支援しているか。その関わりの中で不十分と感じられるものを、現場の声としてあげていくこと。</p>
<p>・担当しているケースへの保健師としてのケースワーク・関係機関との連絡調整の頻度と内容・保健師活動においてあまり取り込まれていない分野(地区の統計・事業評価・研究活動)にチャレンジしていること</p>
<p>・担当している業務の全て(事務雑用～統計処理等)、目に見える決裁だけでなく。</p>
<p>・担当している事業を運営し、決まってることを確実にやっているところ</p>
<p>・担当している住民へ丁寧に対応している所・相談があったことに対しては、他の保健師に相談などして、情報を共有しようとする</p>
<p>・担当業務のみならず、担当外業務であっても、事業として、順調に展開できるように、調整を計っていること。</p>
<p>・担当業務の進捗状況及び内容。・住民からの評価。(本当に役に立っているのか、など)・仕事に対する姿勢。※「評価して欲しい所」というよりも、「自分が仕事をする上で気にかけている所」</p>
<p>・担当事業や配属から、住民組織との関わりは多くはないが、各ケースに対しては、ケースの問題に沿ったフォローを丁寧にやっていること。</p>
<p>・担当地区で教育を企画する際には、入念な打合せや確認を行っていること。また、地区住民の技術向上のために自主性を尊重し、住民のやれる部分は任せっていく(育成等)点についても労力を注いでいること。</p>
<p>・担当地区に関しては、自治会や住民把握を考えているところ・担当事業に関して、責任をもってやっていること。</p>
<p>・担当量・種類にもよるだろうが、多岐の業務・全てのライフステージにある住民を対象として事業をしている。1つの事業をしつくりと見直す時間が持てないことが残念だが、できるだけ住民と関わる機会を持つ様になっていること。・他市町村(先駆的な)取り組み等も参考にしながら、本町に合うやり方を見出す努力はしている。</p>
<p>・知識がないなりに住民と前向きに関わり、相手の立場に立って、一緒に考えていこうという姿勢。・毎日の業務の中で得た専門的な知識を生かして、自分が担当している事業がよりよくなるよう日々、考えていること。</p>
<p>・知識を増やすために研修に参加していること</p>
<p>・地域、通常の事業などを通して、みて、感じて、考える一今必要なことこれから必要なことなど創造的に活動していること。・忙しい状況ではあるが、人としての成長、学びであるとして前向きに職務にとりこんでいくこと。</p>
<p>・地域からの声を反映した、地区活動の実施について・表からは見えない縁の下の力的な、細かい要作業</p>
<p>・地域から得た情報からの事業企画、運営</p>
<p>・地域づくりや、困難事例に対し、専門職として関わり、コーディネートしていること</p>
<p>・地域づくりや自主グループ活動等への住民の褒賞に関してのノウハウについて・個の能力をひき出す方法など</p>
<p>・地域での健康教室や相談など、住民から聞くことができる声を大切にしながら活動するようにしていること。</p>
<p>・地域で働く看護の専門職として、住民が少しでも不安なく地域で過せるよう、その人自身と関係者にとってよりよい方法を考えようとしているところ</p>
<p>・地域との連携をはかり、衛生教育の啓発につとめていること</p>
<p>・地域にある自主組織のネットワーク化をすすめて行きたいので、その企画、運営について</p>
<p>・地域に根づいた活動として、民生委員との関わり、保育所、幼稚園等の連携から、情報をえて、信頼関係を築くようにしている。</p>
<p>・地域に出て、住民の声を聞くようにしているところ、そして地域の人と一緒に必要な新しいサービスをつくらうとしているところ</p>
<p>・地域に積極的に出向き対話を大切にしていること・いろいろな事業を評価していること</p>
<p>・地域に密接にかかわり住民の立場にたち状況に応じた対応をすること(マニュアル化しすぎているため評価されがたい。確かに、法に守られて行政保健師として行動すべきからには、ケースバイケースではいけないこともあるだろうが…)</p>
<p>・地域のデータをもとに保健業務を行っていること・住民の声を保健事業に反映させるよう努力していること</p>
<p>・地域のニーズ、課題を事業の企画・運営にかかしていること・住民力を高めることを意識して保健ボランティアの育成、協働していること。</p>
<p>・地域のニーズにそくした事業を展開していること。</p>
<p>・地域のニーズを見抜く力はあるか</p>
<p>・地域のネットワーク化</p>
<p>・地域の課題や住民の声をとり入れ、事業の企画・運営・評価をしているところ</p>
<p>・地域の課題をふまえ、事業の企画・運営を行っていること・住民の生活に密着した身近なサービスを行っていること</p>
<p>・地域の課題解決のために他部門(教育委員会、国保担当者等)と連携し事業の企画・実施をしている事・迅速なサービスの提供を心掛けている</p>
<p>・地域の各種団体役員・援助を要するケースを含めた接する機会を持つ住民、及び関連機関の他職種等 人との関わりの中でコツコツと築かれる信頼関係の上に成り立つ仕事であるということ。・結果がすべてではなく、その過程が大切になってくる仕事もあるということを理解した上で仕事の過程と質を評価してほしい。</p>
<p>・地域の健康づくりを各団体との連携のもとにすすめていくこと。健康な地域づくりを住民とともに</p>
<p>・地域の健康づくりを推進していくために各機関職種との連携をとり事業の企画・運営をしていること 後輩の指導にたずさわっていること</p>
<p>・地域の健康実態の把握から問題抽出、解決策を見出し(事業化含む)、実践、評価する過程に取り組んでいること、また、これらの活動を住民とともに実践していること=単年評価では見出せない健康づくり部門の事業効果に理解を得たい</p>
<p>・地域の健康問題などを把握し、地区活動としてむすびつけ、住民のパワーが発揮できるようコーディネートする時</p>
<p>・地域の健康問題や実情を住民にかえし、ともに考えていける自主グループづくりへの支援・個へのケース援助とともに、それぞれから得た情報を基に事業の企画、運営をしていること</p>
<p>・地域の現状や住民の声を業にどういった事業をしていけばよいのかの企画・運営。ケアマネ業務が忙しく、保健師の視点で町全体のことを考える、業務から遠ざかっているため、保健業務、予防活動に従事したい。</p>
<p>・地域の現状を把握し、今、本市(市民)にとって、何が必要な活動かを、日常関係者との連携を図りながら、考え1つずつ実践に移そうとしている点・保健師を含む他職種との信頼、連携を大切にしていること・良い仕事をするため努力していること</p>
<p>・地域の住民とのかかわりを持っていく上で、出された要望や疑問点等について保健師間だけでなく係をまじえて、次の事業にかかしているところ。</p>
<p>・地域の住民との接点 視点を生かした事業を考えているところ</p>
<p>・地域の住民の状況を把握した上で仕事していること・地域の住民と共に知恵を出しあい、事業を企画実施していること</p>
<p>・地域の住民の人達から得た情報を、普段の業務に取り入れていっていること・保健師だからできる自由な動き(各関係機関での役割では担えない部分を担って行くこと)により、新たなネットワークや体制を作り上げていくこと・1つ1つケースから得た課題を、普遍化し、新たな事業を作り上げていくこと</p>
<p>・地域の情報や利用者のニーズを把握していること 身近な相談者として機能していくこと</p>

・地域の状況、日頃の保健師業務から感じている健康問題、住民の声を反映させた事業を展開できるよう心がけていること
・地域の状況を正しく把握し、そこから事業の企画、運営をすること→統計、住民の声を大切にすること
・地域の人たちと直接会っており、地域の生の声を業務に生かしていること ・人員配置が不十分なかで業務を行っていること
・地域の人にとって必要な仕事をしていること
・地域の声や潜在化したニーズを施策に生かす ・住民に喜ばれる活動をしたこと
・地域の中で、住民にタイムリーにかかわり必要な対応をしていること ・常に自分の地区、区全体、市についても考え、前向きに仕事をしていること
・地域の中で、住民にとって身近な存在として支援できる立場にあること。
・地域の役員さんと連絡や連携をとりながら住民のニーズにあわせた、企画、運営を行っていること ・各教室を開催した後にデータをPC処理し次回につなげる
・地域へ関わるために、地域住民の中に入り感じとった上で「専門職としての視点」を生かし住民の声(ニーズ)を大切にしながら事業をすすめていること。
・地域へ出向いて健康相談、教育、訪問等実施していること
・地域へ出向く姿勢 長い勤務の中で、普通に暮らす人との交流をもっている。声をかけやすい人という姿勢。
・地域へ訪問等で出かける事で自分の目と感覚で地域での問題を見ている。
・地域や住民とのかかわりから生まれてくる業務について、事業化したり予算や人を増やす提案 ・職員の意欲を高めるための業務の事業化(小さいことでも)や人の調整
・地域や住民の身近な相談者であること ・もっと社会全体に看護師のように保健師の仕事を知ってもらいたい
・地域や住民の生活や健康面で課題分析し、保健事業や介護予防事業を展開しているが、その成果は、目に見えてすぐに現われるものでもないものでその点を踏まえた評価をして欲しいと思います。
・地域や住民の変化を評価してほしい ・PHNとしての能力を評価し人数をふやしてほしい
・地域を、健康づくり活動が定着するように変化を起こして地道に奮い立たせているところ。・専門職としての活動を専門的な部分で評価してほしい。(事務的ではなく…)
・地域をアセスメントし事業の企画・運営をしていること ・個別支援のプロセス
・地域をさまざまな観点からとらえ、問題意識を持ち、地域のニーズにあった事業の企画、運営をしていること
・地域をみ、住民とのかかわりから事業の企画運営をしていること
・地域をみて、地域の健康度をあげてゆくに、地域に出かけ地域での活動を多く実施していること ・住民サイドにも立った視点で支援。住民の声を大切にしていること
・地域をみる観点 ・専門職としての住民との関わり ・コーディネート
・地域をみる観点や予防の観点から住民の声を大切にしているところ ・各スタッフの考えや意見に耳を傾け、事業の方向性等、上司等に理解を求めよう努力していること
・地域を見ながら、市全体の保健事業に取り組もうとしている所 ・住民の声を大切にしている所
・地域を見ることができているか ・市民に対して適切な指導が行えているか
・地域を見る観点から、事業を企画・運営していることで、健康づくりに大いに貢献していること ・専門職として、常に現場に立ち、住民と接する事は、常時精神を緊張させていることなので、給料として、一般事務より評価してほしい
・地域を見る観点から、統計処理に加え住民の声を大切にしていること ・目に見えにくい予防の仕事をしていること
・地域を見る観点から、統計処理はもちろん住民の声を大切にしていること。スタッフの教育 政策の提案
・地域を見る観点から住民の声、統計を大切にしていること ・個別対応を重視し、そこから得たものを事業内容に反映させようとしていること
・地域を見る視点より、情報を集め、住民と関わり、健康づくりをすすめていく点。
・地域を対象とした業務の中ではすくには、結果・効果が見えてこない部分が多いため、長期的な視点での業務の評価が必要 ・日々、住民の声を大切にし、最新の情報や知識を要求されることも多いため、自己研鑽にはげていること
・地域を大切に、第1にしていること。地区把握、住民の声を常にアンテナをはって収集している その地域住民のために事業を私なりにいねいにがんばっているところ
・地域活動一個を通しての関係者、機関との連携・組織活動への働きかけ
・地域活動とのかかわり
・地域活動を積極的に行っている点→住民の健康依頼に基づいてはいるが、地域の実状を多少なりとも把握した上で健康教育を行っている点
・地域看護としての予防活動の効果 ・住民の意見をできるだけきいて事業に役立てようとしているところ
・地域住民との関わりの中で把握した健康問題を、事業に展開したり個別フォローして対応しているところ ・予防の効果
・地域住民との関わりや、家庭訪問等の支援を大切にしよう努力していること
・地域住民との関わりを多く持ち、地域の健康問題の把握しようとする事 ・地域組織の育成にとり組んでいること。
・地域住民との関わりを大切に、地域活動を共に協力して展開している点
・地域住民との関係をとるために、連絡等積極的に行っていること。
・地域住民との接点を大切に、住民の生活に目を向けていること。
・地域住民との接点を大切にしながら業務を推進し、新たな企画運営を展開しているところ
・地域住民と一番近い行政マンであり、専門職として事業計画をたてることができる
・地域住民と関わり、その情報を専門職として直接事業にはんぐいできる所
・地域住民と健康相談等で関わり、その関わりの中から出てきた意見を地域住民の方と一緒に少しでも良い方向に向かうように連携しながら活動していること。・先輩と共に自主グループや他機関の方と一緒に子育て支援に向けて子育てまっごの作成等をしていること。
・地域住民と相談しながら事業を実施し、その事業を自主化に向けて地域づくりをしている点 ・地区担当として、複数地区の個別事例から事業と様々な関わりをしていること
・地域住民と様々な場面を通して接し、ニーズを吸い上げようとしていること ・予防的な視点で訪問をしていることや、介護している家族の支援のための訪問をしていること ・事業(機能訓練、関係者連絡会)に向けてケースの生活を考えながら意見交換し、準備をすすめていること
・地域住民に、最新情報を提供しながら、住民ニーズをつかみ対応している(業務別の仕事となり、最優先業務を担当していき、担当範囲に制約がある場合もあり、やりにくさも感じている)
・地域住民にとって信頼されるもの ・第3者より関わった住民に信頼されるものであればよく評価等はあまり気にしない。

・地域住民に寄りそい、声を集め、それらを地域活動で住民に返していくこと。
・地域住民に直接接していること。その中から様々な意見や要望をくみとり、事業に生かしていること。
・地域住民のニーズと行政の動きを考えながら事業を展開しているところ ・健康教育、保健指導はもちろんのこと家族支援や心のケアを大変にしている
・地域住民のニーズに応じた事業をしていること ・数字では評価できない部分が多いので単年ではなく数年単位で状況を評価してほしい
・地域住民のニーズに根ざして活動しようとしていること ・人事管理上 工夫していること ・時代の流れに沿ってスクラップアンドビルドの視点で考えていること
・地域住民のニーズを、所内事業に取り入れ、新たな事業展開を費用対効果を考えながら実施していること
・地域住民のニーズを把握し、事業の企画運営を行なっていること。・関係者と連携をとりながら、住民の支援をしていること。
・地域住民の意見や協力を得ながら、保健事業をすすめていること。・各事業をできるだけ評価し、次につなげるように努力すること。
・地域住民の健康づくりや地域福祉(明るく)に役立っていること。
・地域住民の健康づくりを、地域づくりの視点でとらえて活動していること ・すぐに結果が出る仕事ではないが、長い年月の中で結果(地域の変化が)でてくるものであること ・地域住民の声を取り入れるように努力していること
・地域住民の健康の保持、増進の手助けができるよう、常に対象者のニーズについて考え、行動をとる努力をしていること
・地域住民の健康実感を把握した上で、重点対象をしぼりこみ、効果的な事業実施ができるよう企画運営していること
・地域住民の健康問題に対して新たな事業展開をすすめるための資料作成とそれをすすめるためのデータや住民の意向収集
・地域住民の健康問題を事業に反映し、実施していること ・事例の処遇について、他職種と連携して、問題解決にむけて対応していること
・地域住民の実感にあった事業の企画運営がされているかどうかと合わせて行政効果上がるものの企画がされているか ・住民組織の育成が効果的に行えているか(民生委員、介護者の会、ボランティア組織など)(住民の主体性が引きだせているか) ・同僚や関係機関からの支援方針に対する相談に適切に答えられているか(スーパーバイザーの役割ができていないか)
・地域住民の身近な相談窓口として、即対応し、支援できること、とにかく何でも相談すればパイプがつながり、住民にとって、生活支援につながる
・地域住民の声を、くみとり、少しでも市民のため…と、企画・運営を考えているところ。数だけでは評価してほしい。
・地域住民の声をきいて、その問題点を見い出そうとしているところ ・対象の方と共に考えながら、今後の方針を決めようとしているところ
・地域住民の声を聞きながら、業務の改善をし、積み重ねてきている事
・地域住民の中で保健事業が浸透し、グループが生まれたりしているところ ・疾病や介護の分析から事業の企画・立案・実施につなげているところ
・地域住民への奉職者として、公平、平等に仕事を遂行すること
・地域住民や地区組織との関わりを大切にしていること
・地域住民一人一人の状況やニーズによって対応していること。
・地域診断を行う時、統計等も大切と思うが住民から直接話を聞いたり、アンケートをとったりしてニーズを把握しようとしている ・困難ケースに対応する時の関係機関(者)との連携
・地域性をとらえ本町にどんな事業が必要かを考えて企画・運営していきたいと思って展開している事業について ・個へのかかわりを大切にしていること
・地域全体に関わる業務と併せて、個別にも(個人)生活習慣改善等の支援をしていること
・地域全体の健康づくりに視点を置いて事業を展開していること。・個々のケースを大切に、支援していること ・職場のメンバーの仕事のバランスに配慮していること
・地域全体の状況を把握し、総合的に管理していること ・個別に個々のニーズに対応し、改善している点 ・住民のニーズ(声)を大切に、チームで共通理解し、業務している点
・地域特性の中からの事業企画・運営及び市民との協働によるその事業実施等の効果 ・保健センターの総括というところで職員が働きやすい職場づくり(例えば専有公用車一台増車など)やチームによる保健事業を、効果的に展開するための環境整備づくりを大切にしていること
・地域特性を生かした、事業の企画や運営を実施していること
・地域特性を把握し、統計分析し、その地区に何が必要かを考えて仕事をすること ・関わっているケースに対し、適切な判断が少しずつできるようになったこと
・地域把握を徹底していること ・対象者のおおまかな情報を概ね把握し、他機関と密接に連携していること ・専門職単独配置で孤軍奮闘していること
・地域保健で経験した個別支援、健康教育を生かし、健康管理業務を行っていること
・地域保健活動で培ってきた、マネジメント能力や医薬・看護の知識を事業者等のケアマネジャーへの指導・助言に生かしていること。・要介護認定という保険事務を専門職として担い、知識を生かしていること。
・地区で1人の担当者として母子から乳幼児全般の業務を行っていること。・PHN間の業務の全体を見て、業務が1保健センターとして円滑に行なわれているかを配慮しているつもり。
・地区の状況を把握しながら、又何が必要かを検討しながら事業を展開していること
・地区の生の声と現場の声、両方に耳をかたむけるようにしていること ・現状のサービスの質を低下させないよう評価・検討を行うこと
・地区の特性にあわせた健康づくりを考え実施したり、ケースに応じて専門的な支援を行っていること
・地区を知るために住民の声を聞くようにしている。 ・まだまだ勉強中なので、評価してもらう段階ではないと思っています。
・地区活動で得た住民の声を、いかに事業に反映できているか。・担当地域全体を見て、活動しているか。
・地区活動と保健業務において、アンケート調査・事業や地区活動の反省を行い、より良い活動につなげようとしているところ。・関係機関、多職種との会議を通して連携しながら業務を実施していること。・住民組織を立ち上げ、地域住民同士の活性化を展開していること。
・地区活動の仕方において、看護職の視点を忘れずに業務しているか。・すべての業務において、どの程度できているのか客観的に評価してほしい。
・地区活動を基本にした活動をしていること。・住民のニーズを常に意識し、ニーズを満たすことができるような活動を展開できるようにしていること。
・地区診断・企画立案・協働・ネットワーク化の能力など
・地区組織との関わり ・家庭訪問の現状
・地区組織の育成を大事にしている。・住民の健康診査(基本、がん)業務の管理から精検受診勧奨まできめ細かく行っているところ
・地区分析や今後の活動に役立てるため、各種統計の活用や担当事業の分析をしているところ
・地道ながらも健康管理予防という視点で住民にサービスを行っていること ・事務処理が多いこと(専門職であっても) ・保健サービスには単に数字や量だけで評価できない部分も大きいこと
・地道な個別の対応、支援
・地道に活動しているところ

・地道に少しづつでも効果がみられるような健康支援につなげていければと思う
・地道に働いているところ 人間相手の仕事です。そんなすぐに結果がでるわけがないでしょと課長、所長に言いたい
・地味ながらも地域の中での生活支援の活動をつこつこつと行っているところ 住民の声を大切にしていること ・仕事の評価は数字(例えば訪問件数、回数等)でされることが多いが1人のケースにかかわる時間は、ケースによっては半日、あるいはそれ以上かかることがある。中味を評価してもらいたい
・中途半端なところで放らず、何らかのアプローチはしてみようという心がけている ・情報から分析判断し、なぜこのような計画をしたか他人にも、わかるような記録を心がけている→自分でなくともケアが継続できるように努力
・仲間どうし、気持ちよくお互いに仕事ができるように心がけている面
・丁寧な関わり、気配り ・細かな連携
・町の行政組織の中で、専門職種として、事務職としての業務や、管理職が本庁に勤務する体制の中で、保健事業を実施していること。
・町保健師として介護予防の視点から事業の企画展開をしているところ ・地域の居宅介護支援事業所ケアマネージャーの資質向上のための学習や困難事例に対しての適切な対応についてスーパーバイズしているところ
・町民、ケースに必要な時に必要なサービスに対応しているところ ・予算の範囲を把握し適切に執行していること
・町民が何らかに困った時にPHNに相談すればいいと思われるような、窓口をつくってきました。地域に住居をかまえている関係もあり、夜、休日等の相談が多いです。・町民の声は、必ず必要に応じてトップまで吸い上げて話している。町民に必要とされれば良いと思っています。
・町民が自ら健康づくりに向かえるよう、学習の機会を提供できること。住民の声を大切にしていること。
・町民の今後の生活を守るために、保健業務(事業)の推進が重要であるという、仕事全般に対する認識を再評価してほしい
・調査時、項目のみではなくその人の背景や困っているところなど広い視点で聞きたいと考えていること。
・調整機能
・長くからやっている事業についてもより良くしようという気持ちを持っている ・まだ、関わっていない対象群へ関わろうと思っていること
・長期的にしる短期的にしる計画的に業務を整理、評価していく能力 ・こなした仕事量(？)
・直に住民と接する中で、専門職としての知識や技術を生かしていること
・直接、住民の声が入る立場で、又地域へ出て行って活動もするので、具体的な住民ニーズ・地域のニーズを事業や行政サービスに反映できる。
・直接、住民の声をきくことができるため、業務にはんえいたい。
・直接住民と接し、生の声を聞き大切にしていること
・直接住民と接している職種として住民の生活や思い意見を大切にしていること ・かぎられた人員数で多種業務を時間オーバーでおこなっている実績 ・時間関係なく、タイムリーに住民の要望に対応していること(もちろん必要に応じて)
・直接住民と接し住民の声や実態をふまえ事業の企画・運営をしていること
・直接住民と接する仕事は少ないが、最終的には住民の役に立っているであろうと思って前向きに仕事に取り組んでいる点
・直接住民と接する立場、住民の生の声をきく立場にあり、実態を把握したうえで事業を展開している ・マニュアル通りにはいかないケース支援。多くの専門的な基幹知識があっはじめて可能であるということ ・与えられたことをただ機械的に行うのではなく、住民にとって何が必要かどうあるべきか常に考えながら業務を行う職種であるということ
・直接住民の支援をしながら、地域全体の健康についての視点で活動を考えていること
・直接的住民サービス以外の部分 情報の収集・分析 コーディネート
・電算システムを利用した迅速な情報の検索やまとめ ・住民を“生活者”として捉える視点 いかにか実際の生活と結びつけるか、生活の営みに促した援助
・途中でなげださず、やりとげる
・統計など結果に対して、できるだけ早めに対応すること
・統計や数字には計上されないが住民・地域と専門職として関わり、それを基に事業を運営していること
・統計をとり、計画と実施、評価を行っていること
・統計処理 ・パソコン等を使用した処理
・統計処理の結果や、住民の声などから、健康づくり、疾病予防、社会復帰などに取り組んでいること ・将来的なことも考えて、生涯を通じた健康を考えて取り組んでいること。・長期に渡って継続して、はじめて結果が出てくるものが多いこと。
・統計処理やパソコン操作が得意であること
・統計上あらわれない仕事が多くまたそれが大事だということ
・統計的な数値のみの評価(多い、少ない)はしないほしい。
・統計的視点から地域の問題を見つけて事業をしている
・働きかけたことによってすぐに結果がでるものではなく、長い目で見てほしい。・数値だけで判断するのではなく、内容を評価してほしい。
・働きかけたことによってすぐに結果がでるものではなく、長い目で見てほしい。・数値だけで判断するのではなく内容を評価してほしい。
・働きかける対象である住民自身の行動変容や言動等から効果が感じられること
・同じ課内に専門職がないので、専門職としての視点を生かした活動。・事業の中で委託の部分が多いが、まかせきりでなく、企画、運営、評価の部分でかわりをもつようにしていること
・同職種のみでなく他職種、関係する機関のもっている力を信じ、独自性を尊重しながらも、協働して地域の健康づくりの土台を築こうと常に意識して活動していること。
・特に困難ケースにおいて、本人、家族をはじめ様々な関係機関との調整を行い、本人の生活全般についての支援をしていること
・日頃の業務を通して住民のニーズに沿うように効果が出るように計画を立てること ・住民一人ひとりの立場にたち、専門職として対応していること
・日頃の仕事に対しての姿勢や態度 ・ほんの少しでも向上・進歩がみられるならばこそ評価してほしい ・専門職として住民と関わる上で、住民の気持ちを大切にしながら接していることetc 仕事のできる、できないに関わらず、もっと幅広い視野で評価してほしい(仕事ができることも大切ではあるが)
・日常業務、個別ケースとの関わり等の中から、住民の声をきき、ニーズを把握し現状の業務の見直しに取り組んでいること
・日常業務の中で、健康問題にかかわる中で、地域の健康問題を見直し、必要なサービスの開発や企画を行なっていること。
・日常業務は忙しいけれども、なるべく地域にで、住民の相談役となろうとしているところ ・自分の仕事に対し、責任をもち、なるべく研修会等にて、勉強しようとしているところ
・日々、これでもいいのかという迷いはあり自分の仕事を評価できるのかという疑問をもっている。何か形として、残るよう仕事をしていくことが後で評価として残るかなと思いついて仕事をしています。いって言えば住民の声を大切にしていること位です
・日々、事業の計画、実施、評価を通し、住民のニーズに合った事業展開に努めている。



・日々、知識、情報が少しずつ変化している中で、新しい情報、知識について勉強していること。(専門職としての知識) ・住民の声を大切にして、自民主体で物事を考えるところ
・日々、地域住民と関わり、目に見えにくいのが、住民の健康増進を手助けしていること。
・日々の業務の積み重ねが事業企画等に活かされていること。(訪問事業等で得た住民の声や、住民とPHNとのつながりが全ての基本にあること)
・日々の事務処理や統計データなど、あまり目につかない部分の仕事もわかってもらいたい。・対象者管理のパソコン化
・日々の相談業務(ケースワーク) ・事業の展開
・日々の相談業務について、評価してほしいと思う
・日々課せられた業務を行うことで精一杯です。評価に値する仕事を行っているかについて自信がありません。
・乳幼児健診やフォロー教室など、対象の方が来てよかったと思うように工夫している所 ・育児支援、虐待予防の視点もふまえての支援について
・認定調査の件数だけでなく、一人の人と関わっている時間、内容などで評価してほしい。・市町村で働くということで公務員という目で見られることが多いが、一般の公務員ではなく、専門職だからこそできる業務を優先業務として行う職種と評価して欲しい。
・年々マンパワーが削減される中、事業の見直し評価した上で業務内容の質の向上とチームワークで効率的に業務の推進をはかっていること ・妊娠中の母親から老人までその年齢に応じた健康状態の把握と健康づくりを実施していること
・悩みや健康相談をもつ対象者に関わり(面接や連携を通じた支援)をもつことで対象者自身が健康な生活に向けて変わっていく過程とその支援内容と時間連絡調整等、又、住民と関わり、1人1人の予防と地域における予防活動につなげていること。・地域住民、及び関係機関と連携して事業がすすむ時、その話し合いの過程、いきさつ等
・把握した情報から、問題解決のために、関係機関等と連絡をとり、問題ができるだけ速みやかに解決していけるよう努力しているところなど。
・費用対効果を考え、事業をみている。・親切的な応待
・必要な機関と連携をとりながら活動していること ・地域の組織との連携がスムーズであること
・必要な情報を整理し、まとめ、仕事しやすいように、まとめたものを、市民や職場の仲間に返していく努力をしていること ・業務のやりっぱなしはせず、一度立ち止まり、振り返りながら、新たな視点をもって業務に望むよう、常に広い視野をもつこと
・必要な保健情報を、提供するために、事業の企画・運営をしていること。
・表面にあらわれない住民の声をいかに把握しようとしているかということ ・積極的に連携や調整役をしようとしているところ。
・評価(業務量の評価)は時間が勤務の多少ではなく、保健分野ならではの評価(質的評価、経過…)をみて欲しい 業務内容からいって全てが時間外勤務に反映すると思えない 又住民の声を十分に生かした方法を積極的にとり入れていく方法。
・評価が数値などの表に出にくい、窓口や、電話、訪問など対個人へのサービスや他機関との打合わせに、時間を要すること、その重要性や必要性を理解してほしい。
・評価してほしいと思うところまでいっていないと思う。自分の仕事にまだ自信がもてないため。
・評価して欲しいと思うようなところがない
・評価できないもの一相談や連携の時間等があること
・評価をして次に生かしているところ ・人材育成
・評価方法(基準など)が難しいと思うが健康教育や健康相談また訪問指導により個人の生活習慣が改善されたり、意識の革により行動の変容がみられた件数 ・住民からの健康教育の要請、要望件数
・病気が治る、死亡率が低下するなど、はっきりした形にはならないが、住民の頼りになっている、何でもしなないといけないので1つを深められないが、相談の第1窓口になっていること。
・不十分なまま業務に追われており反省されます 地域ニーズをとらえた事業の企画運営等考え、事業を発展させていきたいと考えております
・不明
・普段の生活を営んでいる住民により身近な窓口として、情報やサービスを提供している所 ・より身近に住民と接しているため、ニーズを把握しやすく、サービスに反映させていける所
・普段行なっている、住民との関わり、対応について(時間、内容含め) ・専門職としての、仕事内容(企画、運営、評価)
・普通を守る仕事であり、その困難さ
・部下が地区での保健活動ができるよう事務職のいない部分での役割 ・他機関との調整等部下が仕事しやすいよう回る
・幅広い業務の中でも、できる限り住民の思いを聞きながら事業を実施していること。
・幅広い年代の市民と関わりながら、それぞれの世代に合ったサービスを提供している。・困った時に相談できる、相談しやすい地域の窓口として保健センターを利用するよう住民に呼びかけ、対応できるよう努力している。・市民が心身ともに健康に生活できるよう知識の普及に努めている。
・福祉事務所ケアマネージャー等他機関と連携し、住民と関わっている点
・福祉分野における、保健師を含む専門職の役割と必要性
・複数の業務を受け持ち、こなしていること ・住民の声を大切に、住民の身近な存在として、努力していること
・物事についていかに取り組むところ
・文庫、統計資料等を用いて、広報等で住民に分かりやすく健康情報を伝えている事 ・住民1人1人の声を大切にし身近な相談相手であらうとしているところ ・自分達の業務に関する法律、制度に関する研さんを怠らないところ
・文書は誰がみても簡潔明瞭であるよう心がけていること ・知り得た情報を共通する場合、文書だけではなく口答でも伝えること ・住民の声を大切にし、必要に応じて上司に報告すること
・文章化されていなかったり、明確にされておらずあいまいな状態でなんとなく実施されているものを整理し直し、分析を加えて問題点や課題を明らかにしていること
・勉強会等に参加し、知識を得ようとしていること。・住民と関わる際、相手の話をきいて、共感できるよう努めていること。
・保育園保健業務として、子どもたちの健康をあずかっているため、責任を感じている 次世代を担う子どもたちが、健康なからだづくりを、身につけられるよう努力していること
・保育所を利用する、保護者にとつての相談役となること。様々な保健情報をわかりやすく提案すること。・保育所の子どもの身体、精神的発達をチェックすること。必要に応じて、専門機関を紹介すること。
・保育所内で、保育士さんの意向を聞いた上で、親への保健指導を親の立場を理解しながら行っていること。・保育士さんとの信頼関係を構築できるよう努力していること。
・保育所保健業務を実施しているところは少ないと思われるが、先進的に専門職として進めている
・保健、医療、福祉の視点から住民と関わり、相談、連携をしていること
・保健、福祉、医療の知識をトータルして活用し事業の企画・運営に役立っている点 ・地区組織、ボランティア等と協力し住民主体の取り組みを重視している点
・保健センターの常勤は保健師のみ、日頃の活動を文書で報告するが、実際を見てほしい ・住民サービスを迅速に(不満にもつながら)処理するよう努力していること
・保健と福祉の両者の申請等の窓口業務と地域の集団・個別のニーズに対応した訪問や調査等一斉の業務に従事すること。
・保健の専門職として、住民やボランティア、他の専門職とともに連携し、コミュニティワークに取り組んでいること。

・保健の分野での住民支援ができるように、勉強会や、講習会などに参加し、知識、技能向上をめざしていること
・保健や医療に携わる者として、前向きに色々な住民との関わりを持つようとしている事
・保健や福祉にとどまらず、行政へも影響を与えられるだけの期待された専門職であること。・住民に身近なところにおり、住民の声も広く聞けるスタンスにあること。
・保健や福祉の知識を生かした専門職として住民と身近に関わっていること ・行政の企画運営に専門職として参画していること
・保健医療看護の専門性を活かして公衆衛生の見地から、住民や対象者と関わり各人に合わせた方法で事業、企画、運営していること。(各Group)
・保健活動の専門職である ・住民の健康づくりのためには、事業の計画一実施一評価が必要で、そのための充分の時間と関係機関との連携(会議、勉強会など)が欠かせない。
・保健師、ケアマネジャーとしての知識を生かした専門職として、事業所のケアマネジャーと関わり、介護保険サービスの適正化に向けて日々連携をとっていること。
・保健師が保健の専門職になるべく努力しているところ
・保健師でなくとも情報を得る手段はあると思うが、健康診断や健康教室等を通して住民と関わることで健康への意識がかわったり生活習慣の改善に結びついていること。
・保健師として、これまでの経験や医療、保健、福祉の知識を生かし、直接、住民の相談をうけ、支援を行っていること ・どんなに大変なケースでも(精神、結核、難病、知的…)保健師としてのポリシーをもって対応していること
・保健師として、今まで健診等でかかわってきた経験を生かした発達の視点、親とのかかわり。
・保健師としての、専門職としての見方(公衆衛生学的、地域を対象としての活動も含めて、幅広い活動 ・役所の組織の中にいるということ、地域の住民の立場にも立ち物事を見ていく
・保健師としての経験をいかしたケアマネジャー業務をしていること。(ケアプランをたてる際のアセスメント、他機関との連携などいままでの経験をいかすことができている)
・保健師としての資格を生かした指導、訪問を行うような関わり
・保健師としての専門職性。
・保健師としての専門性を生かした住民とのかかわり、その中で得た情報を活用し、保健活動を展開していること ・きめ細かい住民サービスを提供していること
・保健師としての知識と技術を生かして、保健活動を行うことで、疾病の発症予防を行い、医療費や介護保険料の上昇を防ぐという役割があり、行政の中で必要な職種であるということ。
・保健師としての知識を生かした業務をしたいと思うが、福祉の現場(保育所や障害者センター)に配属されると、細かい対応が必要な乳幼児や障害児者と保護者とかかわらなければならず、動きながら考えなければならぬ。そのため、十分に保健活動しているとは思えず、特に評価してほしいと考えたことがないが、時々、もっと他の保健師と連携をもって仕事をしたいと思うことがある。
・保健師としての知識等を生かした専門性
・保健師としての地域の実情、住民との関わりから得た情報を基に事業の企画、運営をしていること
・保健師としての特性を生かし、住民とのかかわり、介護予防の視点で活動していること
・保健師としての日常業務で専門領域に限定されている部分の評価をしてほしい。一個別ケースへの対応等をきめ細かくしている ・現在の職場では、記録する範囲は多いがどうしても保健師でなければいけないというものは、きわめて少ない。
・保健師として行政に入ってから経歴しか問題にされない、この日本の行政のあり方に不満です。看護師としての経歴や民間にいた時の経歴は、ほとんど考りよれない(保健所や保健師間で)いろんな知識や経験が、今の自分の仕事を作りあげたと思っているが、一つの職場に何十年と務めあげることの美徳社会が行政にはあり、すれ違いをいつも感じている。広い視野や民間の発想をもっと評価して欲しいといつも感じています。医師や看護師も専門バカ時代の時代は終わります。常識のある専門職を評価できるシステムがあれば良い
・保健師として住民、他機関と関わり、新事業の企画をしていること
・保健師として住民とのかかわり、ケースの状況に応じて関係機関と連携をとりながら対応していること。
・保健師として保健活動を実施し、住民の声等の情報をもとに企画、運営をしていること ・住民の問題解決への支援を個人に応じて行っているところ
・保健師に対する指導力や係の事務事業を総括する力 ・組織間での調整力
・保健師のチームワークを基に、業務展開しようとしている。(それぞれの事業、目的、思いが意思統一され展開できる)
・保健師の業務について、上司をはじめ、企画部署や理事者に対して理解してもらえよう工夫しているところ
・保健師の業務は、現在の部署についてから、ほとんどやれていない、事務の仕事が大半であり、ほとんど事務職の業務をしている。
・保健師の業務配分や、振り分け他課との調整について ・事務的処理能力 ・後輩へのコンサルテーション等 ※評価とは、“認めてほしい”という意味でなく、適切であるか否かなど自分に必要な能力などの助言等がほしい。
・保健師の仕事は客観的に評価しにくいと思いますが、法律でできた仕事をしているというよりは、地域の健康実態をみて、必要な健康課題を整理し事業化しているという専門性
・保健師の仕事は効果の見えない仕事ばかりだということ ・プロセスを評価してほしい
・保健師の視点でケースのコーディネートを行い、住民に必要な援助を行うことを努力していること ・保健事業を実施する際、住民の立場に立った視点、保健師の視点を組みあわせ、よりよい事業が行えるよう努力していること
・保健師の資格だけでなく自己研鑽により得た知識、技術を生かして連携すべき関係機関の枠を広げてきているところ
・保健師の実施した事を報告書として、まとめようとしていること。・住民の意見を大事にした事業計画を立て、住民の立場に立った、予防活動をしていること ・わかりやすい健康教育をしよう資料作成や教室運営をしていること
・保健師の専門性が生かされた時
・保健師の専門性を求められるような住民への関わりコーディネーターとしての役割は、全く未熟で評価されるには、とるに足らない部分が多い。しかし、事務的な面では、確実こなして行けていると思う。
・保健師の特性をいかし地域の状況をはあくし、新たな事業をおこなすこと
・保健師は、事務的業務(予算、決算、議会対策)も、かなりできること ・地域住民と一緒に活動しており、住民参加の事業こそが保健師本来のそして、従来保健師がしていることである
・保健師は、事務的業務(予算、決算、議会対策)も、かなりできること ・地域住民と一緒に活動しており、住民参加の事業こそが保健師本来のそして、従来保健師がしていることである
・保健師はつねに、住民の声をきける先鋒線にいたいこととして、保健師として、考える事業の企画、運営について
・保健師は地域住民が対象であり、地域での活動が必要であること。・デスクワークの時間が多い。(事務職は事務職の専門職、保健師としての専門性が地域住民の傍へいき発揮する時間が短くなっていること、その分高度な知識をもった新任採用されても技術が磨けない。)
・保健師は予防の視点をもつことが大切だと思う。思春期の問題が出てからでなく、妊娠前、妊娠中、乳幼児期からの支援が必要。すぐに結果が出ない、目に見えない所が、実は一番大切でその部分の評価が必要と思う
・保健師一人しかいないため、保健、福祉、医療とすべてに関わり、事業を進めていること。・地域の連携を密にして業務を遂行していくために、日々努力していること。
・保健師活動を通して得た多様な対象層の支援活動の経験が市民対応・接遇に生かされること ・どんな仕事も、機関、関係者のネットワークの視点をもって取り組む採りにしていること ・生活者感覚で住民の要求を見極める視点をもっていること
・保健師間のチームワークを大事にする姿勢。・事務は能率的にこなしていく。
・保健師業務は訪問等の個別対応のみでなく、集団を対象とした業務が重要であることを理解した上で評価して欲しい ・成果がすぐには上がらない中での業務
・保健事業が健康の保持、増進に役立っていること。市民のニーズを基に事業企画を行っていること

・保健事業が住民健康度をアップし、住民の健康増進、疾病予防に効果을上げていていること・地域の健康把握している専門職として、事業の企画面に力ある人材がいる
・保健事業では、参加人数(受診率)等、数値的な評価、集団としての評価されがちだが、保健師の仕事は「個を大切にしている」ということを、もっと上司に分かって欲しい。
・保健事業と他の福祉や教育で実施している部分とのつながりを考えて実施している点
・保健事業などは、実施してすぐ効果等があらわれにくいので、仕事の内容面(質)をもっと評価してほしい
・保健事業にいたる事務処理(通知等)・地域組織の声を大事にし援助していること
・保健事業の円滑な実施に向けての事務職、他の専門職との連携を大切にしている
・保健事業の実施について生活者としての住民の立場、住民の視点を大切にしていること・専門職としての知識、情報、経験を生かした事業の企画、運営をしていること
・保健事業の対費用効果を観点に統計処理を大切にしていること
・保健事業の目的を常に確認し、ながされるままの実施にならないよう、留意していること・職場の環境、雰囲気気を配ること・市民のニーズを把握するよう努めていること
・保健事業を行ううえで、関係する職種、協力してくれるスタッフと連携を密にとり目標を達成するため、工夫しながら事業をすすめている点。・保健事業の質的評価、人数や回数等の量的評価がほとんどで、その過程や、住民の方々の声、気持ち、意欲などの質的評価は、あまりされない
・保健事業を展開していく中で、保健師としての専門性をいかにするためにどうしたらいいか常に探究しているところ・新任の保健師や後輩の保健師の指導をしているところ
・保健事業結果、調査等から住民のニーズを把握し、政策に反映させようとしていること
・保健事業全体を理解し、評価してほしい(他の職員に)
・保健師・保健センターからの意見を反映させた事業として実施していること。・同職種では、出来ていない仕事を実施していること。
・保健職としての、相談、訪問等により、地域での生活している方、家族のかかわりのプロセス
・保健福祉センターの一職員として、又係を統括するものとして住民の声を大切にしてい果すべき仕事をしていること
・保健福祉関連機関との連携強化・住民組織育成・各種保健事業の企画と運営・母子、成人、精神等の家庭訪問活動
・保健福祉分野の中でも現在は特に専門知識と高度のカウンセリング技術を求められており、それに答えるため、日々努力、勉強しているところ・時間外にも仕事をしており、負担の大きい中、やりがいも感じていること。
・保健予防の大切さを理解してほしい・住民の声を大切に、ニーズに合わせてサービスを行いたいと思っていること
・保健予防活動の企画・運営をしていること・他機関や他課との連携を大切に事業を推進していること
・保護者(母)がしている育児に、自信がもてとりにくいでいけるように、知識をもった専門職としてとりにくいでいるところ・以前、地域にないもの(障害児の療育施設)を問題点としてとりあげ、住民の意見をすいあげ、つくりあげていったように、地域全体という視点でとらえているところ
・保護者、職員の日常的なカウンセリング及びカウンセリングマインド・障害児の保育・療育での医療的な情報をもっと活用して欲しい
・報告、連絡、相談は、おこたらない様努めている。
・法律にもとづいて事業を計画、実施、評価していること。また、その事業が多岐に渡っており、なかなか結果としては見えにくい仕事ではあるが一次予防に力を入れて取り組んでいること。
・法律や制度のみにとらわれず、地域の社会資源の活用を大切にしていること
・訪問、健診などの業務において専門職として多くの住民と関わり、さまざまな問題等を具体的に解決していること。
・訪問、相談業務など地区担当1人でこなしている、係内、課内など一緒に仕事をしている方でも見えづらい部分があると思うが、そこを1番評価してもらいたい、そこが保健師の専門職としての1番の業務なので
・訪問・教室等の保健事業において、個々の支援、教室の実施のみでなく住民の声を収集するなど、いくつかの目的により実施していること
・訪問が多い仕事をする為、地域住民の抱えているあらゆる問題点を把握し、得た情報を他機関の職種へ(適確な判断のもと時期や介入の人選などの調整)コーディネートしていること。
・訪問で得た住民の困り事や不足しているサービスが、多数のケースに共通している場合、簡単でも資料を作っておき、既存サービスの充実、又は新規サービスの成立につなげたいと考えること。・支援ケースに共通する事象を調べてみたいと思ったこと。(以前の勤務地では海沿いの国道に重度障害児が多かった。)・今は健診、相談、教室等事業で、(医師等)スタッフの時間、流れの配慮も大事だが、何をあいても参加者、住民が「不安が緩和した」「新しい発想だ」と「受けて良かった」と思えるように心がけていること。
・訪問や相談時における住民への専門職としての対応や関わりについて・地域住民の健康づくり支援における地域組織との連携について
・訪問を大事にしていること(声を聞き、生活を知ることから、支援は始まると思っている)
・訪問活動、その評価に関して、結果がすぐでず(時間がかかる)、又他職員にもみせにくいものであること。
・訪問活動が減退している中、地域を大事にする為に個別支援に力を注いでいること。
・訪問活動においては、量ではなく質を重視してほしい(訪問内容、他機関との連携)・事業の大半は客観的な評価が難しく、事業を実施しても、目に見えた効果を上げられないが、市民の声を大切に、ニーズに添って実施している点
・訪問看護師をまとめて、充分に活動できるよう努力している・訪問の情報を集計して分析している
・訪問業務…個々に合わせて、訪問内容を工夫しているところ。
・訪問等の数字ではなく、処遇困難なケースの対応として関係機関(必要な企業等)への連絡、調整のために要している時間がかなり多いこと、また処遇困難なケースを重なるかかわっていること
・訪問等をもっと個を大切にしていこうとしている姿勢(ここ数年は、訪問件数が減少して十分ではありませんが)
・本人や地域住民の思いや声を大切に(一番に)考えて事業や援助を展開しているところ
・毎日休まず出勤し、日々の仕事を行っていること
・民生委員さんや他機関の訪問依頼があった時に迅速に訪問に行くようにしていること。
・明るく元気に住民と関わっていること
・目には見えにくい住民や関係機関、地区組織、多職種間の連携におけるコーディネート役をしていること・時代の変化によって大きく変わる保健業務をこなしているところ
・目に見えない成果として出ない業務が多く、評価されない面がある・事業の軽重(担当)に差があり、1人の負担が大きいところ…1つの事業でも非常に手のかかる事業もあれば単発的に終了する事業もあり産休、育休等が多く、日中処理できない分、サービス残業となるが統計上、何もできない・間違いない訂正を少なくしようとするため準備や下積み時間に時間を要するが(間違いがなくて当然とされてしまう)間違いない多くても早急にした人の方が評価され、まとめの際それを訂正している自分が情けなことがある(■■している)
・目に見えないニーズや問題を掘り起こし、目に見えるものにしていき、積み上げていくという専門職の視点を持っていること。・住民から、本根を聞きとる手段、経験を持っていること。
・目に見えない仕事であるが必要であること
・目まぐるしく働いている仕事の中で、相談する際、考え方を十分聞き住民の意見を受容している大変さ。・上司はいるが、ほとんどの業務を実践していること

・目的に則した事業を展開しようとする努力をしていること ・担当者が交代したことで事業が後退しない様、引き継ぐ努力をしていること
・目的を持って事業を計画し、ある程度評価をしていること ・住民の声をよくきくこと
・目的を明確にし職場内で共有していくことの大切さ(視点)(基本構想計画-保健福祉計画-課事業) ・住民と共に考えるしくみづくりの視点(こちら主体でないしくみ)
・目標への達成度 ・スムーズな人間関係 ・係長としては、係員の仕事ぶり(積極性、おおらかさ、正確さなど) 係内業務の管理能力
・問題を抱えている母子が、少しでも負担が軽減されたり…など 相談を(電話、訪問、健診の相談)行い、経過をおってフォローしていること
・問題解決型で、前向きにやる方向(出来る方向)で、どうしたらいいかを考えていくこと ・現場を大事にしていること(実績:現状 住民の声)
・問題点を見極め、改善にむけて、他職種も含め、スタッフ間の調整や協力を得ながら、計画の立案・実行について努力するところ。・個別事例に関しては、起り得る問題点を予測して対応の助言を行い、またその結果について確かにつつ活動していること。
・唯一、家庭に入ることのできる職種であり、そこから得た情報から、個人のニーズに合わせた支援をしていること ・住民と接することで、住民の声を傾聴し、大切にしていること
・優先順位(業務の)を決め効率良く仕事ができるよう頑張っていること ・住民に身近で親しみあるまた、信頼できる保健師として対応できるよう心がけていること
・優先順位をつけて仕事に取り組んでいること。・やると決めたことはその期限内に終了させていること。
・優先順位をつけながら他機関と連携し対応していること。・住民との共通認識(傾聴)を大切にしていること。
・優先順位を決め、限られた時間の中で、自分としてはできるだけ業務をこなしているところ
・優先順位を考えながら、もれがないように努力している
・予算がない中でも工夫して実施していること ・地域住民と直接向き合い、意見をとりあげる努力をしていること
・予測される事態を想定しながら、業務の方向性を考えるように努力しています
・予防という仕事は、10年20年と長い目で見なければならず、地味な仕事であること。が、介護予防を考えると、若いうちからの予防が必ず必要であること。
・予防という視点を持ちながら、業務にたざざわうとしていること ・自分の業務を最後まで責任を持って成しとげること
・予防に重点を置いた活動を住民の実生活の場で、個別、集団に対して行う事ができること。そしてそこからの生の声や生活実態を把握し、健康づくり、街づくりにつなげていけると思っています。
・予防の観点から、保健事業を展開しているところ ・個々の住民のかかわりや、集団の事業を通して、地域の実態に応じた事業を企画・運営しているところ
・予防は、治療にまさるといふこと。(例えば痲痺が重症化したらもう手おくれ。その手前でくいとめる方法はあるのに)
・予防を視点として事業展開や企画 ・目的やニーズを把握しながらすすめること ・関係機関との連携コーディネート
・予防活動として、ハイリスクの人には濃厚に支援を大切にしている
・予防的な、かかわりをしていること ・個々のケースへのかかわりを、地域の保健事業に広げていること
・予防的観点から、個別対応事業を行っていること ・市民の方のニーズを把握しながら、一緒に考え自己選択する力を大切にしているところ
・与えられた業務は、責任を持って遂行しているところ。・住民とのふれ合いを大事にしているところ。
・与えられた仕事に対し、不満を言わないようにしている。・住民との接し方
・与えられた仕事は責任感を持って遂行していること ・住民の立場に立ち、丁寧な仕事の仕方をしていること
・様々な職種と連携しながらケース支援を行っている点
・要介護支援高齢者や家族のニーズを受けとめ、総合調整を行っているところ
・来所者に対するの対応(相談内容により関係機関にすぐ連絡をし、必要な時に必要なサービスを受けられるよう配慮していること) ・関係機関とよく連絡をとりあっていること
・利用した市民の満足度
・利用者が利用しやすいサービスを住民の声を大切に実施しようとしていること。
・利用者と家族の希望をふまえながら、本人の将来像を見据えてよりよいサービスを各事業所と連携して行っているところ。・介護予防の視点を、常に頭に入れて活動しているところ
・利用者の立場にたつて考え 政策、事業等で声として反映させている。・他市町村と比べ活動が遅れているような部分に関して、もっと推進していくべきと声を出している
・立場上(管理者)上司に提言したり、専門職としての判断が生かされること
・量的な評価を重視するあまり、個々のケースへの対応等の質的な評価が軽視されている ・「合理化」の考え方が、職員により異なり、少数ながらも能率が悪い状況になっている→このことに気づいていない ・「専門性の生かし方」が、上司と意見が合わず、はがゆい、理解がされていない
・量的結果だけではなくそれに向けた経過や対象が感じた変化といった質に注目してほしい。
・臨床経験から学んだ知識を生かし住民と関わっていること。
・臨床経験を活かした健康相談ができるよう心がけていること
・臨床経験を生かして、住民とかかわり、住民に情報提供しているところ。・子育て中の母親と同じ目線に立ち、母親の声をきき事業に生かしているところ。
・例に同じ、そのとおりと思います ・殺人や自殺等命に直結した事件さえギリギリで抑えていることを認めて欲しい
・例年通り…というやり方でなく、よりよい方法を探して事業を考えようとしている点(→特に検診の流れ等) ・住民の声や、医療、看護の観点からみた必要性を大切にしようとしている点
・連携 困難事例が多い
・連携が必要な事例については、関係機関等と連絡をとりあうように努めていること
・連携や調整を行う中で活動を関係者と共有しあう意識づくりに努力している面 ・他職種の中で1人で活動しなければならず努力が必要な面
・話しを聞いてあげること！！
※住民のことをよく知っているの、その立場に立って物事を考えるようにしているところ
※住民の声を施策に活かしたいと努力するところ
※保健師として専門的な視点から住民の意識の向上、保健、医療、福祉の連携を目的に事業の企画、運営にたざざわっていること
※利用者には誠実に接し、困難なことには、上司や同僚の意見を求め実行するところ。

★看護、医療、介護保険の専門職として住民の個々のニーズに対応し住民が地域で生活できるように諸サービスをくみあわせ援助していること。
★住民が一日でも長く健康でいてほしいという思いで支援していくこと
★新しい事業の企画調整を、独自の判断でなくスタッフで話し合いしたり住民の意見を聞きながらしている点 ★21計画を住民参加のもと、たて、推進している点
★対象者をアセスメント・地区診断をして、事業を行っていること(他職種には理解されにくい)
★知識を生かした対人サービスであり、専門職として、対象者と向き合っていること。★情報の集積から、健康を考え、対象者との関わりを考慮している点。
★予防医学の観点から、その時の住民のニーズを大切にしながら、そこから得た情報を基に、住民がうまく予防的活動ができるように情報を提供したり、また事業で活用することで住民が健康に関する知識を高めることができるという点。人々が心身共に健康度が高くなるとも活性化すること
★保健事業(各分野ごとに)の現状と課題を分析し、体制づくりを行っている途中であること。★障害、介護、保健、児童福祉、環境面での役割を理解した上で、保健センターの役割を明確に提言していること。
1)行政職として市民の立場に立ったよりよいサービス(あいさつ、笑顔から健康づくり支援に至るまで)の提供 2)円滑に業務を行うため、同じ課の職員との人間関係を良く(悪くしない)していこうと工夫していること。
1)保健師活動を統括する係長職の保健師が必要と考えるが組織上なく、保健師8人のチームとしての働きを大切にしている。又、母子保健移管、精神保健福祉の一部移管、一方、新しい法律制定と抱え間なく動く中で事業のふりかえりを、保健師だけでなく、事務、栄養士、歯科衛生士と、いっしょに行うことは、大きな前進と思う 2)学校保健との連携は、ケースの引継ぎは、もとより、中学校に関しては児童民生委員の仲介で専門職として校内の会議へ参加できるようになった。少しずつの前進である。3)各事業に参加した、住民のグループ支援も、その継続支援 3)市の特徴を生かし母子保健の取り組み(他市に比べ若年ママが多い支援
1. :ケースとの関わりに関しては専門職としての知識を生かし、関わりをもち、サポートしていること。また、特に住民と接する際には、不安やストレスの軽減ができるように接している。
1. “住民が主役”であることを忘れないで、活動していること。2. 報告を大切にしていること。
1. “人”を相手に仕事をしているんだという点を重きにおいていること 2. 健診データ等を分析し地域に返す動きをだしていること
1. “保健行動の中で、疾病予防のための行動を、自己管理できることが重要であり、やれることなんだ”と、個別であったり、集団の場合で、支援していること。2. 住民が、組織的に、活動できているように、支援する。(地区組織や、ボランティアグループの活性化!!)
1. 「いのち」をはぐくみ、育てることの大切さについて、1人1人がかけがえのない存在として生かされていることに気づくような健康教育を今後も展開して行きたい 2. 子育て支援の輪を広げ、地域が明るく元気になる地域自主組織づくりの支援者であること
1. 「介護予防」という新しい概念を普及させるために事業の企画、実施をしていること(福祉の場にいると「予防」という考え方は理解されにくい。申請主義であおむである。)2. 「保健」の専門性そのもの。(健康づくり・健康増進・地域の組織化・住民とともに住みつけられる地域(まち)づくりなど…)地域からの要請はできるだけ受け付ける。またこちらからも出ていく。3. 在宅介護支援センターの機能ももっているため、民間の在宅介護支援センターへの支援・助言なども担っていく。(市の役割として)
1. 「保健」はどの部署とも関わりを持ち、範囲が大きい仕事であるため、横断的な役割をしているが、その役割がわかりにくい。2. 「何をしている」といわれると表現できない程、様々な問題に対応している。看護職として幅広く勉強していかなくてはならない 3. 住民を知らうとしていること(人としての関わりにとどまらず、統計処理においても)
1. 10人10色いろいろな生活、考えのかたがいろいろとこの価値判断ではなくあくまでもその人らしさを大切に支援しているところ 2. 時代の流れをつかみつつ、地域のニーズとも関連させ事業の企画をするところ
1. 1つ1つの事例に、真面目に取り組んでいるところ 2. 事業について、計画をたてて進行していこうとする姿勢 3. 事業を行った際次の計画に生かせるように事業のまとめを行い、次の計画を修正しながら行う姿勢
1. 1つ1つ積み上げて、事業を行っていること
1. 1つのケースをめぐり調整には多数の関連機関、人材等との連絡をおこなっていること 2. 1つの事業を企画運営できる総合的な力と実績にはならないがその事業の要で、こまごまと住民の苦情処理のような非効率的な業務もおこなう職種でもあること(上司は前者のみの評価をします、住民の評価は丸ごと受けとめます)
1. 1つの課の業務だけでなく、保健、福祉、医療に関する業務を一定習得することで、市民の事業者特に幅広いニーズに対応できる人材、仕事をしている 2. その活動の中から、住民、事業者、行政の活動を幅広く、とらえて、政策に生かしていこうとしていること(まだまだですが…)
1. 1つの事業の企画他機関との連絡調整や評価など、結果(数)としてあらわしにくい部分の業務 2. 1つ1つの事例に対するかかわりのなかみについて(事務職には伝わりにくい)
1. 1人1人のケースにできるだけ関わりを持つことを大切にしたい
1. 1人で村の保健師として、すべての業務をやっているところ。2. 保健所が遠いので、保健所の業務もやっているところ。
1. 1人のケースをコーディネートし、必要な専門機関につなげていく。2. 個々のケースを大事にし、相談ののっていく。問題解決への糸口を見つけていく。3. 健康教育にて、住民と一緒に健康についての問題を考えていく。
1. 1人職種というところ 2. 医療の専門職として、日々、保育園に通う親子を支えているところ
1. 2. 等について評価して欲しいと思うが、上司、住民に評価してもらえるような資料を作っていないので、PHNとして課題です
1. PHNという職種を生かしながら、生活者個人のみならず家族や地域を含めたトータルな対応が可能であるということ(となく役所は 縦割り業務になりがちなので横断的、抱括的活動ができるというあたり)
1. PHNとして、行政と専門機関、住民組織の連携をとるための活動 2. 情報収集、企画、実行までもっていくこと
1. アンケートや住民との直接的な関わりから生の声を大切にしていること 2. できるかぎり接する住民の方の名前や顔を覚えること
1. ケアプランへの指導助言ができる。2. 介護予防への視点をもち業務に取り込んでいる
1. ケースとの対応
1. ケースと密に関わること
1. ケースに関わり、ケースの健康レベルを引き上げQOLの向上に努力している事
1. ケースの変化 2. 関係機関との連携調整能力 3. 地区組織活動の活性化
1. ケースの立場にたった保健指導
1. ケースワーク 2. ケースワークをしながら、そこで感じた問題点を次の事業に発展させること
1. ケースワークの内容処理の仕方。(以前は記録に目を通してもらい気づきかわりについて評価を受けた事があった)今はケースワークの内容は自分しか知らない。(恐いです。別の意味でも…)
1. コンピュータを利用した、高齢者の実態把握に関する情報の収集やデータの活用等についての、システム開発事業を補助金を導入し、構築し、運用開始していること。(情報の共有化を図った) (保健分野にいた頃は、健康管理システムを構築した。)
1. サービス提供者側の利益の有無にかかわらず、住民の命を守ることを最優先に動いている。2. 住民の視点、立場に立ち、協働で目的達成する姿勢を心がけている。そうすることが住民の自立であり、地域力を高めるための支援であると考えている。
1. スタッフが、業務をする中で、目的、目標をみすえて仕事をできるように全体を考えて仕事をしていること
1. スタッフが前向きに業務に取り組める環境づくり 2. スタッフとしては対づきにくい施策化
1. スタッフ及び関係機関職員等の事業推進のための調整力
1. せめて事務職と同等の存在価値や評価(休暇や給与)を管理職から得てもよいこと 2. 小規模村の方法論にとらわれず、どこの職場でも通用出来る技術や平等に得られる機会が持てること。
1. せめて事務職と同等の存在価値や評価(休暇や給与)を管理職から得てもよいこと 2. 小規模村の方法論にとらわれず、どこの職場でも通用出来る技術や平等に得られる機会が持てること。
1. センター内職員チームのリーダーという役割に業務の大部分が費やされる事 2. 通報や緊急性の高い問題に対して、できる限り早い対応をしているという事実。
1. その場で答えられないことがあっても、後で調べてできるだけ早く返すようにしていること。2. 相談に来た人の気持ちを受けとめるようにしていること。
1. チームケアを行なう中でのケースに一番身近な存在であること。2. 危機的状況下ですぐに対応できるよう心掛けていること。

<p>1. チームワークを大切にしている。独断性の高い意見や効率化を重んじた意見のために現場で働くメンバーが、傷ついたり、やる気をなくすることがある。そんな時は、メンバーの状況に合わせて、仕事がすすむよう配慮しているか、そういった調整の部分は、時間を要する割には、どこからも評価されない。現場の仕事はひとりひとりの職員が、とりにくくてこそ、住民に良い保健サービスが提供されると思う。2. 保健師の経験やカンだけでなく、科学的なデータと一緒に保健業をすすめていきたいと思いつつ、仕事にあたっての現場全体を理解し、考えているところ</p>
<p>1. できるだけ事実に基づいて判断しようとするところ。(憶測やパターンに当てはめてしまわないで考え、判断するところ) 2. 常によりよい業務(事業)のすすめ方を考え、少しずつ変化させているところ。</p>
<p>1. できるだけ住民や他の専門スタッフの声を取り入れ事業を実施してきていること 2. 専門職の視点を生かした事務処理</p>
<p>1. デスクワークしていることが、保健師としての役割を果たしていないことと評価されてしまうこと。実際は地域性をデータ上から振りおこして分析したり、基礎データの整理が必要な業務であるということ 2. 相談業務を行う際、人数で評価されるのではなく、質(相談者が笑顔で戻る)で評価してくれること</p>
<p>1. どこへ配属されても、保健師としての専門職の視点を生かした事業であること 2. 住民のニーズに合った事業の展開であること</p>
<p>1. とても、数人1部署だけではうまくいかない業務を数人で考えながら行っていること</p>
<p>1. なるべくいいに住民と接しようという心がけていること。</p>
<p>1. ひとつひとつの関わりを大切にしていること 2. 医学的知識や様々なエビデンスを基にすべての業務を行っていること</p>
<p>1. ひとつひとつの事例を大切に对应すること</p>
<p>1. フォーマル、インフォーマルな情報をもち、介護支援専門員資質向上に努力している(ケアマネからの相談受ける、ケアマネ協議会への支援、等、専門職員だからできると思う) 2. 住民の方の話を十分に聞き、適正にサービス提供につなげる。(専門職とし、聞く力があると思う。対人援助技法を学問とし勉強してきているので)</p>
<p>1. プラス、地域の将来像を描きながら、保健ニーズを探り、企画・運営をしていること</p>
<p>1. ヘルスプロモーションで仕事をしている所</p>
<p>1. まずは誰が評価するか...というのがあいまいであり、指示体制に問題があると思う。評価という業務を中心にしてくれる上司がいるとすれば、常に相談を受けてもらいながら、与えられた業務を自分なりに目標、方針をかかげやっている部分を評価してもらいたい。</p>
<p>1. モデル地区限定した事業より医療費抑制を考えて全地域で事業を実施するため日数がかなり総事業量が多い、少ない人員で多くの事業をこなしていること 2. 地区組織運営・自主活動推進に力を注いでいるため事業企画から実施にも時間がかかる</p>
<p>1. リーダーシップのとり方</p>
<p>1. 医学的、保健予防的視点からの業務推進が可能であること</p>
<p>1. 医学的に根拠をもった事例を住民に伝えていること。そのための自己学習をしていること。2. 住民に合ったもの(サービス)を提供できるよう、住民の声を十分に聞くようにしていること。</p>
<p>1. 医療の知識を生かした専門職として、関連機関と連携しサービスの提供へのコーディネートを行ってきたこと。2. 同僚等が嫌がる事業や他機関との連携、業務業務を行ってきたこと。</p>
<p>1. 医療や福祉の知識を生かし、相手の気持ち(声)に耳を傾け心身になり住民へのサービス(事業)を展開しているところ</p>
<p>1. 一人の仕事の仕方、結果、重要であると思う提案について、受け入れられたかどうかなど 2. 現場の仕事の難かしさについて取り組んだ成果 3. 地域の健康、保健問題を把握し、解決、取り組むための努力をしている点</p>
<p>1. 一人一人の相談にゆくり話をきき丁寧に関わっていること。2. 通所者の知り得た情報を自分だけのものとせず他の専門職と共有し今後の関わり方について協議していること。</p>
<p>1. 一年間の活動や個人のデータを数字で出し予算編成や計画書づくり等で提供し分析、次の事業への展開などに関連づけていくこと 2. 日頃の活動の成果の一つとして、住民から保健部分だけでなく他の部署への相談、質問など多くある。より住民に近い存在であるということ(住民からの声が大切であること)</p>
<p>1. 一般事務的管理に従事している保健師ですがデータの蓄積からあるいは専門職としての見方で情報提供をしていること。2. 個人情報の蓄積を素に具体的指導や相談に対応できること。</p>
<p>1. 益利に結びつかない外部に出張して(ex、看護協会の専門委員会等)専門職のレベルupや活動の方向性を拡大できるよう努力していること</p>
<p>1. 家庭訪問に重点を置き、住民と関わり、問題解決に取り組んでいること。2. 生活を守る観点から、住民の声を聞くよう努めていること。3. 地域の問題をすいあげ行政に反映させていること。</p>
<p>1. 過去になかった新しい試みに取り組んでいる点 2. 担当部署・者だけの判断ではなく、関係する部署や職員の意向を反映させようと努めている点 3. 専門職が無視しがちな事務的手順、処理を大切にしている点</p>
<p>1. 介護や福祉の専門相談員として住民に適切な情報を提供していること。2. 介護保険サービスだけでなく住民が必要としているサービスの開拓や実施</p>
<p>1. 介護保険が公平公正に実施されることを目標に(介護が必要な人に必要な量の介護が行える)認定調査が基準どおりに行われるように各事業所のケアマネジャーと連携をとっている。2. 介護予防の立場から、各市町村と連携をとり、保健事業に介護予防の視点が組み込まれるよう企画に参加したいと思っている。</p>
<p>1. 介護保険の認定に不服がある住民の対応、その後のフォローをきちんとしている。</p>
<p>1. 各機関と連携し、専門性を生かしたアプローチが出来る</p>
<p>1. 各担当が1人で悩まず、周囲と相談し調査業務が遂行できてるか、全体的な動きがスムーズかどうか。2. 滞っている所があれば(係の業務において)、そこに支援ができていく。</p>
<p>1. 学校保健と地域保健の連携を意識して、子どもたちの育ちの環境を多くの関係者と共に、考えるよう働きかけていること。2. 母子保健をリングとしてとらえ、乳幼児期→学童期→思春期→青年期→成人と一連の連携のもとに、共通の課題をもち、一緒に活動をしていくよう働きかけていること</p>
<p>1. 看護、医療、福祉の知識を生かした専門職として介護保険制度の一事業者の一員としてケアマネジャー、サービス提供責任者を指導、育成していること。2. 市との連絡調整役として市の方針を外野団体に伝え一定の公的責任としての役割を担うことを理解して仕事を遂行できるよう指導していること。3. 住民の要望や現在の施策の中で不十分なものについて、および公的団体として必要と思われる事業の企画、政策立案化する役割</p>
<p>1. 看護、医療の専門職として住民に関わり、住民ニーズの把握に努めていること。またPlan-Do-Seeの観点から、そのニーズを事業へ還元していること。2. 予防の重要性、健康な地域づくりの観点から、予防活動、啓発活動を大切にし、単一の対象、年齢層のみでなく、その背景のより多くの住民への効果を目指した活動を目指していること</p>
<p>1. 看護、医療の知識を生かし、社会資源 ネットワークを駆使し、保健活動を行ってきた経験を生かし、困難事例を数多く対処。今現在も地域を訪問しながら在宅ケアに関わる多職種のネットワーク作りを実践中。2. 個別対応の部署にあって、地域診断ができにくい。在宅から統計的な見方、まとめ方を行ない、評価の一考を提示していること</p>
<p>1. 看護、医療の知識を生かした専門職として、業者や住民と関わり、そこより得た情報や、現場で可能なデータをまとめ、これを基に事業の企画、運営を行っていること</p>
<p>1. 看護・医療の知識を生かした職種として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること 2. 地域の関係機関や、組織と協力し、予防活動を実施していること</p>
<p>1. 看護の専門職として住民と関わり、相手の話をよく聞き、大切にしていること</p>
<p>1. 看護の専門性を生かした地域生活者のQOL向上のための事業展開ができる能力評価 2. 今後地域の変化(特に少子、高齢化)を評価できる能力と、そのことを基に地域づくりができる自治体職員であること(第1位である)</p>
<p>1. 看護の知識を生かして、ケースと関わっていること</p>
<p>1. 看護や医学の知識を生かした専門職の視点でケースに関わるチームケアの一員であること。2. 住民のニーズをうまく吸い上げ、ニーズに基づいたきめ細やかな独自事業を企画していること。</p>
<p>1. 看護や医療、福祉の知識を生かした専門職として、住民と関わり、そこから得た情報を基に、事業の企画、運営を行っていること。</p>
<p>1. 看護や医療・保健の知識を生かした専門職として直接住民と関わり、それを基に事業を展開していること。2. 統計上には大きく変化がみえないかもしれないが、住民と個々に関わって相談のつたり、指導をした時に苦痛をうけたり、個の関わりが大きく地道な仕事が多いこと。</p>
<p>1. 看護や医療の知識は勿論、保健、福祉の情報を生かして住民や組織と関わり、各々に必要な調整と方向づけをしていること 2. 地域をみる視点をもとに、各種事業や、保健、医療情報を統計処理し、施策の改善に結びつけていること</p>
<p>1. 看護や医療の知識は勿論、保健、福祉の情報を生かして住民や組織と関わり、各々に必要な調整と方向づけをしていること 2. 地域をみる視点をもとに、各種事業や保健、医療情報を統計処理し、施策の改善に結びつけていること。</p>
<p>1. 看護や医療の知識をいかした専門職として住民や関係機関と関わり、事業の企画に関係職と調整しながら、ひとりで行っていること。 2. 自分自身が健康管理を心がけ、年間事業を安定して行っていること</p>
<p>1. 看護や医療の知識を生かした職種として住民とかわりそのケースワーク及び情報を基に事業を実施している。</p>
<p>1. 看護や医療の知識を生かした専門職として、事業者への支援や事例困難ケース(虐待etc)への対応を行っていること</p>







1. 関係機関、関係者と連携をとりながら、総合的支援をしていること 2. 住民のニーズに基づいた事業の企画・運営
1. 関係機関、関係者と連携をとりながら、総合的支援をしていること。2. 住民のニーズに基づいた、事業の企画・運営。
1. 関係機関、職種との連絡調整し事業の企画、運営している「チームワークを大切にして関係者の底上げを目的に実施している」
1. 関係機関、職種とよく連携し、事業の企画・運営をしていること
1. 関係機関とのネットワークづくりを推進するための調整機能を果たしていること。2. 保健師は住民(個人)、地域(集団)の健康増進について、将来を予測しながら活動を推進していること。
1. 関係機関との連携を大切にしている
1. 関係機関と連携し関わることで問題が解決方向へ向かった時
1. 関係機関の職員と連携を十分にとりながら事業実施していること 2. ボランティアグループをまきこんでの事業展開に力を注いでいること
1. 関係機関の連携をこまめにとり、情報共有し、利用者が困ることがないように心がけていること。2. フットワークを軽くし、なるべく住民と直接関わるよう、じかに声がきけるよう対応していること。
1. 関係機関間のサービスの調整が主たる業務ではあるが、処遇困難ケースの支援に関して、他機関の職員と共に、直接援助活動を行っていること。2. 保健の知識と地域活動の経験を生かした専門職として総合相談窓口(保健、医療、福祉に関する複合相談の対応)の体制の企画・運営をしていること。
1. 関係機関内での、保健師の役割。2. 住民の立場に立って、その気持ちを大切にしていること。
1. 関係職種、住民の方が、どのようにうけとめたか、反応を見ながら関わりお互いにどうしたらよいか、相手側の立場も考えるようにしていること。2. 自分の気づいたこと意見を積極的にのべ、情報交換を大切にしていること。
1. 関係法規、当市条例との適合性をみながら、必要な保健システムの構築や職場に必要な体制づくり等の企画運営を行っていること。2. 各部署のすき間にある問題点や調整事項について探り出し、各部署と連絡、調整を行っている
1. 基幹型と地域型の在宅介護支援センターを運営しているので在宅介護の総合相談窓口機能を充実させていること。2. 地域ケア会議を毎月実施しているので、関係機関との連携を密にし絶えず多職種とチームで問題解決に取り組んでいること。3. ケアマネの定例会を企画しているので、住民のケア情報を出来る限り把握する努力をしている。
1. 基幹型在宅介護支援センター開所と同時に勤務しているが、基幹型としての業務を開発し、開たくして、基幹型としてやらなくてはならない仕事を一つ一つ広げていったこと。2. 基幹型在支の役割を常に考えている所。
1. 基本的には市民の話をよく聞き少しでも支えになりたいと思っていること 2. 前向きに仕事をすること
1. 既存の事業がよりよいものになるよう事業の見直しをする
1. 既存の事業を行う時に評価・改善の視点を忘れぬようにしていること。2. 看護の専門知識、原理原則を活動に活かそうとしていること 3. 一、専門職として活動することは勿論、組織としての和にも配慮していること
1. 既存事業を従来通りになすだけでなく、社会の流れにそって配布資料の構成をかえたり、より効率よくすむように取り組んでいること。2. 住民1人の意見でも尊重し、その内容に関連する部署に情報提供していること。
1. 虐待ハイリスクと思われる親子への支援から、新しい事業の企画や現在実施している事業の改善を行なっている事 2. 支援経過の評価を行い、必要な体制づくりの為や、危機対応に関するレポートを作成し、スタッフ間での議論のもとにすすめている事
1. 虐待予防のためのきめ細かな母子保健サービスの提供。[母子手帳交付時から早期面接、信頼関係づくりをしている所。] 2. 地区組織「愛育会」の運営について。[時代のニーズに応じた愛育会づくりに取り組んでいる所。]
1. 求めてくる住民だけを相手にしているのではなく、多くの住民にかかわるような事業の企画をしているところ
1. 協調性 2. セカンド主義 まずは住民の立場を理解しようとする事など
1. 教室、講座等において、PHNと参加者、または参加者おのりの関係づくりを努め、その関わりの中で参加者の声を大切に、参加者にあった教室を展開するようにしている。2. 地域で活かしている食生活改善推進員や、各教室からの自主グループの方々と関わりを大切に得たことを基に企画・立案している。3. 継続を大切にしていいため、教室終了後に自主グループを作成するよう支援している。
1. 教室運営の際の住民の反応をみてほしい
1. 業務の性格上、相談業務が多く、問題解決にも時間を要し、それこそ連携しなければならない点
1. 業務をふまえて、個人ニーズのとらえ方 2. 地域ニーズ、現場ニーズからの(掘りおこし作業)施さつあげ方
1. 業務以外での気付きなど、眼にみえない部分。2. 公務員、専門職の立場で仕事をしていく上で判断に迷うことも多い、判断の結果に至る経過など評価していただきたい。
1. 業務遂行にあたり連携をスムーズに取れ、目的達成の為に円滑な協力体制が作れること 2. 対人援助職としての感性があり、自立支援に向けての適切な援助が出来ること
1. 業務量増加の中で個々のニーズに対応するため、訪問活動を重視している 2. 医療と福祉をつなぐ役割として存在していることを認識している
1. 区役所、福祉保健センター内において、現在の業務は感染症対応、成人保健が中心だが、感染症対応の保健師というイメージが強いようで、保健事業を実施しても、評価が低いと思う。2. 保健事業の報告形態が参加人数で行うためか、実績=参加人数でしか評価されない。少数の意識や行動の変容が認められにくい。
1. 係員のフォローや、バックアップ体制に気を使っていることを上司にわかってもらいたい(係員には意識させないようにしたい) 2. 集団対象で仕事をしても常に住民1人1人が、個を意識して、自分を確認できる保健事業の実施を心がけていること。
1. 係内の1人1人の資質を高め、能力が充分発揮できるようにするための体制づくり、関係づくり 2. 住民のニーズに沿った健康づくりを推進するための企画運営
1. 経験を生かして、調査員の育成指導が効果的のでできている 2. ケアマネジャーのかかえている困難事例に対する助言・指導を効果的に行っている 3. ケアマネジャー、調査員等の研修方法
1. 継続して実施してこそ効果があるもの(将来に向けての事業)を行っていること。
1. 計画的に余裕を持って仕事に取り組んでいるところ。2. 住民の声を大切にして、住民の信頼を得て仕事に取り組もうとしているところ
1. 件数とか回数、人数などすぐ数的なもので押しはならないでほしい。1件でも困難な事例から、それ程手間のかからないものまで、いろいろケースbyケースである
1. 健康教育や予防活動などに力を入れているところ。
1. 健康問題はその社会の変化や日々の生活のしかたの変化によって、影響をうけ変わっていく。その変わっていく健康問題を発見し、そこにフォーカスを当ててすぐに予算化できなくても(予算がなくても)、保健師として活動していくこと。2. 地域により社会資源は様々だが、不足している所に社会資源の量を多くする働きかけや、質の向上にむけて努力し、他の人に働きかけていくこと。地域の健康度のアップにつながる。
1. 健康問題を入り口としながら、地域住民が共に支えながら生活できる地域づくりをすすめたいという視点をもっと関係機関や住民組織等との連携に努力している点 2. 相談等があった場合タイムリーな関わりや関係機関等とのチームアプローチが出来、支援が総合的に出来るように配慮している点
1. 健康問題を予防的視点からかわり、解決に向けて、直接的に保健サービスを提供したり、又は、他機関とのネットワークを生かして間接的なサービスの提供したり、それは、専門職としての経験や知識を生かしてからこそできる仕事であり、専門職の保健師として常に前向きに仕事をしていける動機にもなっている。
1. 健診、受診後のフォローを、自分ができる範囲内で実施していること(翌年のデータと比較し、改善されているケースもある)
1. 健診データの集計などにおいて、正確にするよう心がけていること
1. 健診等、多くの事業を担当しつつ2万人の人口の支持地区を担当している事。2. 従来からのケースの相談のりつつ、日々舞い込む新たなケースの相談に対応している事。
1. 現在の業務に於ては、いかにその日の業務を的確に、すみやかに、支障のないよう、できるだけその日のうちに、事務処理するかというのが、重要なので、その点についてだと思います。2. 窓口で、来所された方の、不安を解消し、スムーズに介護保険制度の理解と利用につなげられるようにしていること。
1. 現状の問題点を明確にし、今後のあるべき姿勢を考え提案していること。2. 新人の教育をしていること。
1. 限られた資源を有効活用し、保健活動をすすめよう自分なりにしている所
1. 限られた予算、人員の中で、なるべく住民ニーズに近い事業・サービスが提供できるよう、事務職の方や、立場の異なる上司、同僚とも協力し、工夫し、仕事をしている ※専門職として…は、あたり前！?

1. 個から集団へ、集団から個への支援・援助ができること 2. 「地域」という視点を持ち、問題解決にむけて活動していること
1. 個に対しての相談業務を中心とした住民サービスの部署で、問題解決まで時間を要する、あるいは解決に至りにくい内容が多いこと。2. 緊急時対応しなければならない業務を担っており、予算上を理由に認められていないが危険性を伴う夜間出勤があること
1. 個人、集団に関わり、QOL、エンパワメントの向上を目的に業務をしている事 2. 複数の問題を抱えるケースに継続的に関わり、多機関と連携をとっている事
1. 個人と家族が今ある現状より、より良い方向になるよう、うまく連携を展開して、個人や家族に返し、そのくり返しの中で、個人や家族の生活の質が向上になっていくこと 2. 1. の展開の中で、地域の課題点を発見し、保健・福祉の施策に結びつけていくこと(反映させていくこと)
1. 個人の健康状態、地域、家族の支援体制等多方面からの情報で、判断、個別支援を行っていること。2. 多職種との連携に、個別支援、地区活動共に非常に時間、手間がかかること。
1. 個人対応の大切さ。個人の問題から地域の問題が分かる所が多いから。2. 予防の大切さを評価してほしい。事故、問題が起る前の何げない日常に目を配ることの大切さを感じる。
1. 個人的な相談に対して自分なりに適切な情報を提供している、その日常活動を評価してほしい。2. 一般的な統計、各個人のデータ、各個人のニーズ、社会的状況等を総合的に考えながら、職員の健康維持に努めようとしているところを評価してほしい
1. 個別ケアから集団ケアのできる業務内容
1. 個別ケースへの関わりと他職種との連携によりケースへの対応している個への活動
1. 個別のケース対応を通して、そこから得た情報を基に事業を企画していること 2. 地域の状況をふまえた事業の企画をしていること。
1. 個別課題の集積を理論的根拠をもとに施策化するプロセス 2. 住民参加を大切に行政施策を推進していること 3. 業務や事業をお金や回数、参加人数などの目に見える数だけではなく、質的な分析を加え評価する能力
1. 個別指導において、その子どもの発達状況や日々の状態によって柔軟に対応すること。2. 職員の連携体制の中で、親の思いを受け止め、必要に応じて、専門機関からの助言を受けるなどしていること
1. 個別支援(ケース1人1人への対応) 2. 健康教育 3. 個別支援から、地域に必要な予防活動を考え実践しているところ
1. 個別支援を大切に、地域の声として(地区特性)把握するよう努力していること
1. 個別事例について、関わりを深めながらケースとともに改善を図るべく努力をしていること
1. 効果があったかどうか評価するときに短期間でもみるものもあれば長期でもみるものもあること。数値だけでは評価できないものもある 2. 住民のニーズに対応していけるよう住民一人一人の声も大事に活動していくことを理解してほしい 3. まちづくりの施策の中に健康に関することは必要不可欠で様々な分野の方々と連携して保健活動がなっていること
1. 効果的な仕事をするうえで必要な時間、研修等を考慮してほしい
1. 効率 2. 住民の力を活かそうとしていること
1. 行政と住民(民間企業等も含む)が協働して取り組めることを大事に事業展開をしていること 2. 行政の中で看護の専門職としての役割をはたしていること
1. 行政に働く看護職として住民ニーズを把握し事業に反映していること 2. 常に事業の評価をし、業務を見直しながら取組んでいること
1. 行政主導で行なっているのであれば、担当者間の考えで、物事を進めてゆけるが、住民主体の事業を行なおうと努力しているため、住民の意見で事業の方向を変更することも多いこと。又そのことで時間がかかるが、住民を動かすには、この方法が適していること。2. 全てを統計で処理できないこと。
1. 行政職と医療者と住民のまんなかに立ち、制度にかかわらず援助の必要な人への援助を考えようとしていること。
1. 今までの経験(地域とのかかわり)と、コーディネートする手法をたずさえて事業の企画、運営をあげていくこと 2. 他課の統計、情報の蓄積、地区データをまとめ、業務にいかすよう努め、資料として活かしていること
1. 今までの行事や考え方にない視点で課題と向きあうことができる。2. 頼まれた仕事をできるだけ早く、期待以上に返すように工夫して行っている。3. とにかくパワーあふれる仕事ができること 4. いつも住民の立場に立って考えようとしていること
1. 今までの取り組みを参考に新しい情報や知識を収集し、事業内容に取り組んでいること
1. 今までの保健の知識と経験を生かした専門職の視点で、福祉や福祉関係機関、職種と連携していること。2. 1. の連携により、円滑に保健福祉事業が行われるよう支援していること
1. 今まで住民や関係機関との関わりから得た情報や技術を生かし、事業の企画運営をしていること 2. 住民とともに住民参加型の事業展開をしていること
1. 困っている1人1人のケース(相談業務)を大切に積み重ねていっていること。2. 他職種、他機関(施設)の関係者と信頼関係を持ってながら協力して仕事ができていること。
1. 困難ケースへの処遇対応にかかる業務量について 2. 現場業務のスムーズな実施に関する連携及び調整について
1. 困難事例に対して、自分のできる範囲で積極的にかわり結果として事例が良い方向に向かうような展開になった場合のその過程。2. 複雑な業務に対して効率化をはかり実際に業務時間が短縮しかつ整理された時。
1. 困難事例を解決している(危機介入等) 社会防衛にもつながっている事 2. 社会資源づくりと育成 ボランティア、自助グループ、作業所、等 3. 地域診断がある程度できる(住民のニーズ、声の把握)
1. 根拠を持って計画・目標設定・評価視点を立案している。2. 事業を体系化したいと考えていること。3. 保健師独自の役割を理解してほしいと努めている。
1. 在宅介護支援センターの総合相談窓口として、日々住民と接しているが、その中からニーズを把握し、地域ケア会議のメンバー等と連絡をとり合いながら、住民の関わりの中から把握したニーズを基に、事業の企画、立案、実施し、評価も行うことになっている。例えば痴呆予防事業。2. 常に、住民サイドに立ち仕事をしている(できるだけ住民のニーズに答えられるよう努めている) 3. 常に、関係機関との連携を大切に、相手の立場を理解しながら、業務に当たっていること。
1. 財政健全化計画を進めている現状では、費用対効果を考えて事業を見直し、又、関係各課と横の連携を深めて、事業の企画・運営をしていること。2. 市町村合併を視野に入れ、広域的観点から、地域の保健・医療の課題や今後の方向について問題提起していること。
1. 雑用と思われる仕事も、すべて子どもたちの安全を守るためと目的意識を持ってしていること
1. 三障害(知的、身体、精神)の福祉業務について保健師として住民から期待と信頼され、さらに事業の企画、運営を実施していること 2. システム開発の企画し電算に依頼し台帳管理を行っていること
1. 仕事としては評価しにくいような、処遇困難事例に対して、専門職としてのかかわりを試行錯誤しながらも考え、他機関との連携をとりながら、対応していること。2. 同僚の意見や、悩みを共に考えながら、職場全体としてその仕事にとりくめるように調整していること。
1. 仕事の上の創意工夫 2. (看護)予防教育の知識を生かした専門職としての仕事 3. 事業の企画運営
1. 仕事を効率的に進め、地区にも積極的に関わりを持ち住民の身近な所で専門職として関わっていること
1. 市から委嘱している団体を管理しているが、専門職でない、一般住民なので、関わりが難しい、事務的なことから専門的な分野まで、管理指導して行っていること 2. ケースひとつひとつに、アセスメント計画、実施(訪問や面接)、評価(記録に残す)して行っていること 3. 担当地区の集まりへ出ていき、教育、相談、住民からの声を大切に、また記録に残していること。
1. 市民の課題をとらえて、それを企画、立案に生かす能力は一般事務職よりすぐれたものであり、評価して欲しい。2. 専門的(公衆衛生)な知識、視点があるので、その意見をとり入れるとともに評価して欲しい。
1. 市民の健康課題をみつめて、その予防のための、地域づくりをめざしているところ?
1. 市民の声に耳を傾ける
1. 市民や在宅介護支援事業所、介護サービス事業所との連携をとりながら、市民サービスの向上や充実に寄与していること。 2. スタッフ不足のため介護保険スタッフがほとんどサービス残業しながらでも業務を遂行していること。
1. 市役所の中で、他の行政職 課とも交流を持ち、横のつながりをもとに、働きかけを行っていること。(各福祉課・介護保険課・国保課・市民課など) 2. 市役所外の関係機関に関しても、日頃から、良い関係が保てるよう関係づくりを大切にしていること。3. 保健師の名称にこだわり過ぎず、必要な時に専門性を発揮できるよう柔軟性に心掛けていること。
1. 事業についてきちんと準備し、実施、整理、フォローしているところ 2. スタッフのチームワークを重んじているところ 3. 母子保健計画を推進しているところ
1. 事業に参加された人のニーズが満たされるように企画・運営をするよう心がけていること 2. 事業の目標に向かって企画・運営していること
1. 事業の運営に関して(可能な限りの)創意工夫を追求していること

1. 事業の企画、実施、評価を各事業毎に係員に記入してもらっています 係員に事業評価、事業説明、予算の必要性を話しています それらの教育を評価してもらいたいです 2. 事業の予算について(国の補助金等)の説明ができることを評価してもらいたいです
1. 事業の企画の際の情報収集から連絡調整を円滑に図り企画運営していること 2. 窓口および、電話による相談に対してより適切な情報を提供するためのコミュニケーションを大切にしていること
1. 事業の企画をしていること 2. 住民と協働で事業推進していること
1. 事業の計画、予算の確保(補助金の申請含む)、事業運営の一連の過程を実施していること 2. 住民から気軽にいつでも健康に関する相談を受けていること
1. 事業の計画・運営には、情報を分析した根拠があること。2. 相談、面接業務など、事業名としてあがってこない内容に多くの時間を費していること。また、そういった事が重要な活動であるということ。
1. 事業の計画等をきちんと考えて立てていると思うこと
1. 事業の結果、生活習慣病などのデータが改善したとか生活の質が向上したなど、メリットがある点
1. 事業やケースの関わりにおいて、結果だけではなく、その過程を大切に、次の事業、ケースに生かしていること。2. 地域として広く捉えるだけではなく、個人々々の意見を聞き様々な考え方を取り入れ、事業の企画・運営をしていること。
1. 事業を企画立案するまでの過程 2. 庁外での事業の実施状況 3. 事業評価
1. 事業係における保健師としての役割の明確化について
1. 事業実施に係る計画一実施一評価までの総合的評価。2. 事務分担に搭載されていない業務を行っていること。
1. 事業実施の参加者の数だけでなく、参加者のQOLがどれくらい変化したか等の内容や過程についての評価してほしい 2. 住民のニーズをひろいあげ大切にしている事
1. 事業推進のために、効果的な方法を駆使し努力しながら運営していること 2. 住民を大切にし、住民へのサービスに努めていること
1. 事業等目的・目標を決め、それにそった評価をしていること 2. 住民の行動変容の変化
1. 事務(専門関係)をしながらの市民との相談業務の両立に努力していること 2. 関係機関との連携(事務も含める)のウエイトが業務の中で高いこと。
1. 事務作業のスリム化をすすめていること 2. 指導を頭ごなしにしていないところ 3. 明るく元気に仕事をしていること
1. 事務職ではできないことをしているところ 2. 保健師として自分がこの職場に必要なかを評価して欲しい(民間企業と違い公務員は個人評価をされる機会がないのでダラダラと働いている人が目につく。自分はそんな風になりたくないの。) 3. 科学的根拠にもとづいて、仕事を遂行しようと努力していること
1. 事務職よりも、より住民との対話ができる。2. 専門知識を生かして、事業の企画・運営ができる。
1. 事務量だけでは判断できない、相談の質も大事にしている 2. 住民のもとへ出向いていき、生の声を事業に生かそうとしていること
1. 事例に対して、より良い支援を実施できるよう、信頼関係を築こうとする努力。2. より新しい知識や技術習得のために、勤務時間外、自費使用をしながら、自分の能力を高めようとしていること。
1. 児童虐待防止について、発生事例への対応だけでなく地域で防いでいけるシステムづくり、関係者のスキルアップを目指している点 2. 関係機関に、市にも虐待に関する相談窓口がきつつかある点を積極的にPRしている
1. 時代の流れや住民のニーズに応じて、常に事業の見直しを一生懸命行っている点。2. 数値の評価は短期間では難しい保健事業だが、長期的にみて重要な事業であること。
1. 自治体(全体)の基本方針を、自分達の仕事はどこに位置づけているのかを考え業務を行っていること 2. 地域の住民の声を大切にしていること 3. 科学的根拠にもとづいて、仕事を遂行しようと努力しているところ
1. 自分の行った業務で有所見が改善されたら、その時は評価してほしいが、今、そこまでいっていないので、評価してもらえないところはない
1. 自分の仕事で、どんな目的でされ、それがどの程度達成されたか? 2. 自分の相談内容、指導がどの程度相手に役に立ったか(個人評価) 3. ひとつの事業を成し遂げるのに誰とどのようにかかわって(連携)したことの結果、スムーズに達成できたかの連携状態の過程(たくさんの部署とかかわってスムーズにすすんでいること)
1. 自分の持っている資格 得意分野にもなる業務遂行能力
1. 自分の担当している地域づくり(広い意味)を念頭におきながら住民と共に考え、企画、運営している事業について評価してほしい。またそのような事業にはかなりの稼働が必要だということを理解してほしい
1. 自分の担当分野の仕事に対し、最後まで責任を持って行っていること。2. 保健医療に関する知識を生かし、住民の相談に応じ、対応できない分野にかかわるものは、相談先につなげる 3. 住民との信頼関係を大切にしている 4. 相談、各種事業や調査等、様々な情報を総合的に分析し、課題を把握し、事業の企画や運営に役立てる。
1. 自分の知識と経験から、住民が満足できる保健サービスを企画、運営を心がけていること 2. 失敗を恐れず、新規事業を取り組んでいる
1. 自分達の実施した事業が客観的な指標で効果をあげていること 2. 個の援助がきちんとできていること
1. 疾病を知っている、ある程度の予防策、アドバイスする事が出来る専門職であるという事
1. 質の向上がみられること。住民の意識レベル・意欲レベルの向上
1. 実施している業務の結果から、改善的や方向性を出し、新たな企画、運営に生かしていること 2. 係員が、統一性を持ちながら、目標にむかって取り組む、組織運営 3. 住民にとってはどうかの視点を生かしながら、関係各課との連携をしている点
1. 実施数、受診数とか、数値で評価することも確かに必要なかはわかるが、人と人の関わりの中で、数値だけでは表わせない行動変化、意識変化等 住民の意識を大切にしていること
1. 実施数、受診数とか、数値で評価することも確かに必要なかはわかるが、人と人の関わりの中で、数値だけでは表わせない行動変化、意識変化等住民の意識を大切にしていること
1. 実務的な保健師業務より、調査や統計処理も含めた、業務を通して地域支援を考えて業務をすすめている
1. 若い発想 2. 地区で活動している自主グループやサークルの情報を集約していること。
1. 集団だけでなく、個別支援も大切にしていること。2. 医療面だけでなく、福祉、保健面でも貢献していること。
1. 住民、個々人に誠実に接していること。2. 住民の声を大切に考え、それを基に、事業の企画・運営をしていること。3. 保健師全員のチームワークを良く保ち、住民の健康づくりに取り組んでいること。
1. 住民からの意見、要望を大切にし、可能な限り、意に沿うように心掛けていること。
1. 住民からの声を大切に、事業を企画・運営していること
1. 住民が楽しめる事業になるよう心がけているところ。
1. 住民サービスとしての総合相談窓口的業務 コーディネートの役割
1. 住民とのかかわりから得た情報を事業の運営、企画に活かしている 2. 専門性を生かした仕事
1. 住民とのかかわりで信頼関係を築きながら仕事をしている点
1. 住民とのつながり、地域とのつながり 2. 見えない部分の事務作業、調整事、会議の準備、出席などが以外に多いためそういった所で業務が成り立っているところを見てほしい
1. 住民とのつながり一地域をみて一政策になっていること。信頼関係
1. 住民との関わり 2. 事業の企画 3. チームプレー(業務が円滑にすすむための職場内の連携、後輩の育成など)
1. 住民との関わりの中からは、県内の情報を得、市で取り組める状況(スタッフの業務量等、予算、関係機関の協力等)を判断し、前向きに事業の企画、運営をしていること 2. 住民に笑顔でやさしく接していること(あたりまえですが) 3. 職員との話し合いに務め住民の声、職員の気持ちを大事にしていること
1. 住民との関わりの中からの情報をもとに事業の企画・運営を実施 2. 住民への声かけを大切にし必要な時に即相談にのれる体制づくりを心がけていること

1. 住民との関わりの中でニーズの達成度と満足度について、関心を示して欲しい。2. マンパワーが不足している中で事業の企画、運営に苦勞している
1. 住民との関わりや対話を大切にしていること。2. 困難な事例に対してもあきらめず取りくめるところ
1. 住民との関わりを生かした事業の展開に努められること。2. 住民と直接かかわり組織をもっていることから地域にも少しずつ浸透できる点があること。
1. 住民との関わりを大事にしていること
1. 住民との関わりを大切にしていること 2. 業務一つ一つ掘り下げて丁寧に仕事をしよう心掛けていること
1. 住民との人間関係、信頼関係を築いた上で住民のニーズに沿った事業展開ができていないこと 2. 勤務時間外での住民の相談に乗る(電話相談がほとんど)ことがかなりあり、不安解消に努めていること
1. 住民との対話(傾聴)する時間を重んじている点。
1. 住民との話し合いや、事業の中から得た情報、調査等からみえる実態などを基に企画した事業などに理解をしてほしい。そして、その事業を成し終えた時、参加者数とかの数字にみえるものでなく、参加した方々のあつい思い(心に触れる企画であったか)をどれだけ引き出せたか 2. すこやか親子21計画の中で、子ども達の実感が明らかにされ、その解決のための方策が部署を越え、予算化されたこと(学校の水道の蛇口の増設・トイレの改修・教育委員会調理室改修)
1. 住民と一緒に考えることを大切に、時間をかけても右往左往しながら1つの目的を達成できるよう支援していること。していきたいこと。2. 事業が本来の目的を達成しているかふりかえっていること
1. 住民と関わり、住民の声を大切にしていること。個を大切にしていること
1. 住民と関わりながら、その人にとってのニーズとは何かを探りながら専門職の立場でその人の力で改善していくことを支援しようとしていること。(組織化も含めて) 2. 地域に住む一住民としての視点から生活の中で楽しみながら健康づくりをすすめていけるような事業を企画しようとしていること。
1. 住民と直接ふれあい、生の声を聞き、行政の施策へ生かせる情報を持っているところ 2. 市職員としてはもとより、個人の顔と名前を前面にだして、仕事をしているところ
1. 住民と直接顔を合わせ、実態やニーズを大切にしている点。
1. 住民と密接にかかわっている所
1. 住民と良好な関係がとれ、住民とともに健康づくり事業を展開していること
1. 住民にとって、今必要なことを把握し、事業化していること 2. 事業の明確化と情報提供に力を入れていること
1. 住民に身近な部署での健康福祉サービスを実施するためのリーダーシップ(迅速な市民サービスの対応の意識づけ)判断力、調整力、コミュニケーション能力
1. 住民に対して質のよいサービスが提供できているか 2. 保健師としての仕事の評価と役職員としての評価両面で評価してもらいたい
1. 住民の1人1人を大切にしている活動 支援には時間を要するが、幸福づくりに貢献できたことしかし難しいことであるでしょう 2. 地域ネットワークづくりのエキスパートとしての存在と活動について 3. 常に新しい視点で、業務を実践していること
1. 住民のために、精神的な部分での援助で、重要な役割を任せていること。(虐待の予防等)につながっているところ
1. 住民のニーズと市の経済、社会的背景を考慮しながら、事業の推進に努めていること 2. 住民の健康を守る視点から、よりよく働ける様、スタッフの環境整備に努めていること
1. 住民のニーズをキャッチし、共に考え、施策化すること 2. 対人コミュニケーション 相談しやすいPHNであるかどうか
1. 住民のニーズを考え、集団～個別へケースバイケースの対応をしていること 2. 保健事業と補助金申請など事務的な作業もしていること 3. 母子保健に関する全般的な業務をしていること
1. 住民のニーズを施策につなげていこうと努力すること
1. 住民のニーズを聞いて他の機関(職種)と連携して、問題処理にとりくむ姿勢 2. 住民のニーズに出来る限り早急にとりくもうとする姿勢 3. 地区管理(統計処理を正確に行う)をして、保健活動を行う
1. 住民の意見や声を大切にしていること
1. 住民の意見を反映した業務をしていること
1. 住民の意見を反映した業務をしていること
1. 住民の意志を尊重している、それに合った関係機関との連携をす早く行い実行していること。
1. 住民の顔、健康状態、課題など諸々の事情を把握し、必要時提言していること 2. 首長の行政施策が総体的に、場あたりのことが多いため、もつと職員との議論の場が欲しいです。やる気のおこさせる首長陣であってほしい。
1. 住民の気持ちになるべくみて接したい。気軽に相談してもらえるような雰囲気づくりを心がけていること。2. 1つ1つの事業をもつと大切にじっくり取り組みたいが、事業がたてこんでいるとついぬけてしまったりするが、反省して後フォローをしていること。
1. 住民の健康づくりを住民とともに考え、実施していく「ヘルス・プロモーション」をコンセプトに保健活動を行っている。家庭訪問、健診、健康相談、健康教育など個別に、集団に住民への直接サービスができ、その反応も直接的であり非常にやりがいがある。2. 生活者の視点で健康ニーズをとらえることができる
1. 住民の健康に関わる重要な業務を担当させてもらっている職員として常に住民本位に考え行動していること、あまいな対応は絶対にとらない、町職員、町の責任として対応している 2. 事業の企画、評価は住民にとって意味があるのか効果をあげているか住民の視点で考えている。住民の声を大切にとり入れている。
1. 住民の健康を考え表にたつてではなく裏から黒子的にその活動を支援していること
1. 住民の健康を守る専門職として、アセスメント、計画、実践していること 2. 地域全体をみすえて仕事をしていること
1. 住民の健康課題を公衆衛生の手法でつかみ、浮きぼりにさせる業務 2. 住民が主体となり自らの健康課題に取り組むための学習を支援する業務 を中心に据えて実行するための努力をしている点(国や県の示す指針を、市の実情と保健師の果たすべき職能に照らして、効果的に行うために必須です)
1. 住民の健康問題をきり口にして地域をみている…問題点を明らかにして、必要な職種への情報提供ができていない
1. 住民の視点に立ち、専門職として一緒に考え、自立していけるよう援助していること 2. 地域住民主体となっていくよう、地域での事業を考え、実施していること
1. 住民の自己決定を大切にしていること
1. 住民の自主的な健康づくりのための活動の発展(住民から活動を継続、活発にやっている状況の把握)さらに次の事業の企画、運営をしていること 2. 住民の計画への参画、ニーズを把握して努めて仕事をしていること
1. 住民の実態をデータ化し、施策化しているところ。
1. 住民の心をとらえた健康教育
1. 住民の身近な場所で、気軽に相談に乗ることができる。そのことで、住民がやがては自立して自らの問題解決ができるよう支援していくことを目指すが、見えにくい姿に対する理解は現実的には困難。
1. 住民の身近にいて、かかわりのあったほとんどの方を知っていること 2. それを、事業に反映させようとしていること
1. 住民の身近にいていろんな相談受けながらニーズを把握し、事業を計画実施していくこと。2. 他職種、他機関との横のつながりのための連絡調整係を任せていること。
1. 住民の生活の質を高めることに関する業務を行っていること
1. 住民の生活を直接把握しており、現状を知っていることによりまちづくりの一員に入れてほしい
1. 住民の声(情報)や統計資料により事業の企画、運営をしており、その事業自体がどんなに大切かを理解してほしい。更に、町の基本計画に基づく福祉健康に関する事業計画であることをわかってほしい。
1. 住民の声に耳を傾けながら、支援を行ない、又、ニーズ把握から業務の充実、施策への反映を心がけている点。
1. 住民の声や、将来的な予測をもるまえながら、事業展開していこうとしているところ 2. 今、しなければならぬ事業を、専門職やボランティアグループとともにつくりあげていこうという姿勢